



機動戦士ガンダム
MS大図鑑
PART.7
【デラーズ紛争編 下】

Illustration by Yuji Kaida

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



1. 策謀の宙域

〜シュート・ダウン〜

アルビオンは、コンペイ島（旧称ソロモン）で行なわれる連邦の宇宙艦隊観艦式に向かっていた。軍上層部は、観艦式を強行することにより、反抗勢力に威圧を与えようとしたのである。途上、バニングを中心に、コウ、キースの訓練飛行が行なわれる。フルバーニアンの性能を十二分に引き出し、コウは、初めてバニングに勝利する。若者の成長を喜ぶとともに、バニングはどうしようもない身体の衰えを感じていた。同じ頃、シーマ・ガラハウの艦隊と、連邦の観開旗艦である戦艦バーミンガムが秘密裏に接触しようとしていた。シーマの艦隊

【第7章 デラーズ紛争(続)】

海兵であるシーマ部隊の戦力は1級である。その強兵に対しバニングは2機撃破のスコアを上げるのだが、それが彼の生涯最期の戦績となってしまった

イラスト／武半慎吾



をキャッチしたアルビオンは、それを敵襲と判断、バニング以下3機のMSを迎撃に向かわせる。コウは、フルバーニアンを駆り、因縁浅からぬシーマ率いるMS部隊との戦闘に入る。戦闘の最中、バニングは大破した敵艦から「星の屑作戦」の概要を記した計画書を手に入れる。帰艦途中、計画書の内容を確認したバニングは、その恐るべき最終目標を知る。しかし、被弾した個所が爆発、バニング機は誘爆を起こして消えた。悲しみの消えぬままアルビオンは次なる行動に移らなければならない。MS部隊の運用に支障を来さないため、作戦行動中の艦長特権により、アルファ・A・ベイトとコウの階級は戦時階級により1階級あげられた。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



2. 悪夢、再び

シロモン・ヘリアー

観艦式を前にして、それを妨害しようとするジオン残党の動きが激しくなっていた。

哨戒任務にあるアルビオンのMS隊のコウたちは、迎撃のためほとんど休む暇もなかった。地球周辺上主力艦隊船のほとんどを集めて観艦式は開始された。その威容に連邦軍司令部はかなり状況を楽観視していたが、地球の防衛網をほとんどまるはだか状態にしたことにシナプス艦長は不安を感じずにいらなかった。その頃、ガドーは核装備をした2号機を駆り、配下のMS部隊を従えてコンペイ島へと出撃していた。観艦式指揮官であるワイアット大将の演説

2号機に装備された核弾頭の威力は、戦略核をも凌駕する。強奪された連邦の機体から、今は連邦の拠点となったジオンの要塞へその砲弾が発射された。



を傍受したガトーは、その傲慢な内容に唾棄する。あらたに闘志を奮い立たせたガトーは、機体を攻撃ポイントへと向けた。配下の機体は、陽動へと向かう。一方コウたちは、飽くことなく現われる敵に苦戦していた。修羅の様相を呈する戦場とは裏腹に、観艦式は壮大に続けられていた。ガトーは、一年戦争時のソロモン戦の残骸の間を縫って一歩一歩確実にコンペイ島へと接近しつつあった。だが、設置してあった自動砲台に見えさせてしまう。2号機に集中する砲弾。随伴していた僚機が援護する間に、ガトーは2号機を狙撃ポイントへ駆る。2号機発見の報を聞いたコウは、フルバーニアンを加速させた。核砲弾発射前に2号機を捉えることができるか。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



3. 激突戦域

フルバーニアン

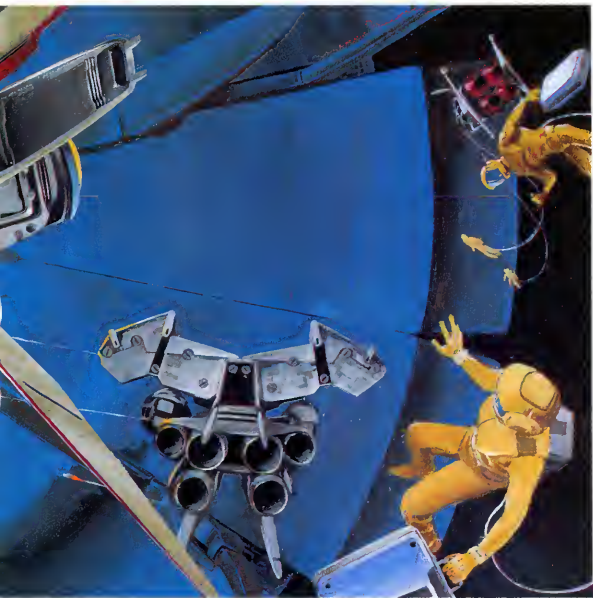
フルバーニアンは、間に合わなかった。核砲弾は、発射された。すべてを包み込むがごとく広がっていく光の球。連邦艦隊は甚大な被害を被る。全艦艇の3分の2が戦闘不能となった。観艦式は崩壊し、生き残った艦艇を再編するために指揮系統はおおわらわらした。監視態勢の乱れについて、ガトーは機を脱出させる。その前にコウの駆るフルバーニアンが立ちふさがった。ガンダムとガンダム、最後の一騎打ちが始まる。戦巧者のガトーの前に押されるコウ。だが、度重なる戦いを生き抜いてきたのは伊達ではなかった。ガトーをも怯ませる気迫で2号

ガンダム同士の異常な戦いにも終止符が打たれる。その異常さを象徴するかのように、互いを貫いた様は、一瞬影像のようにその姿を宇宙に刻みつけた。



機に肉薄する。ふたりの力の均衡を示すがごとく、2機のガンダムは互いの機体を貫く。機体を脱出する一瞬、コウは直接ガトーと邂逅する。そして、ふたつの機体は宇宙空間へ四散した。その頃、別動隊となっていたシーマ艦隊はコロニー公社がサイド3へ移送中の2基のコロニーをジャックしていた。ミラーをひとつずつ破壊されたコロニーは、回転の重心が狂って激突した。1基のコロニーは、月へ落着する軌道をとる。星の屑作戦が新たな展開を迎えたのだ。コロニーの落着を防ぐため、再編された連邦艦隊が急行する。一方、アルビオンは「星の屑作戦」を阻止するために戦力を補充すべく、ドック艦ラビアンローズへの進路をとっていた。

GUNDAM 【ガンダム戦史】WAR HISTORY

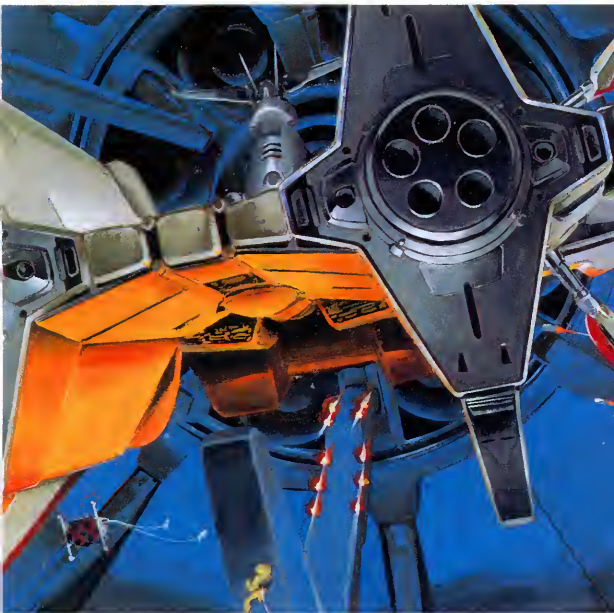


4. 決戦の地に向けて……

「ラビアンローズ」

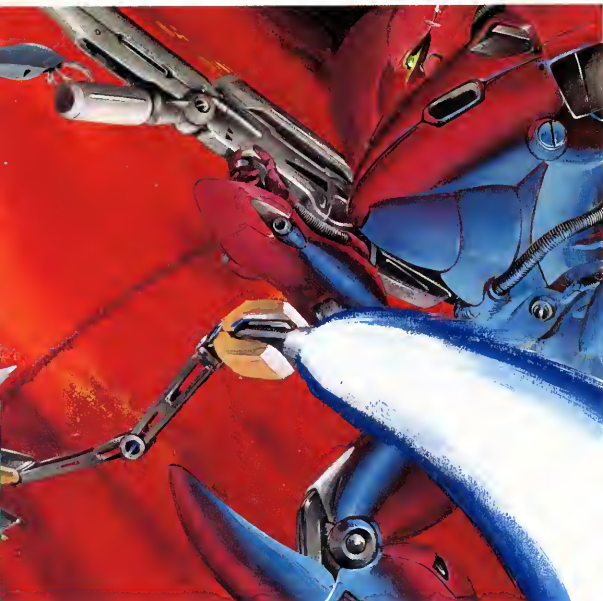
ドック艦ラビアンローズは、アナハイム所有の最大の船であり、宇宙艦の修理、整備能力を持っている。今、この艦はGPシリーズの試作3号機のテストベースとなっている。アルビオンは、試作3号機を戦力補充のために受領しようとするが、待ち受けていたナカト少佐よりデラーズ・フリート追撃の任務解除を言いわたされる。その頃、ガトーは、アクシズの先遣艦隊から試作MAノイエ・ジールを受け取っていた。ノイエ・ジールを駆り、ガトーは連邦の追撃艦隊を迎撃に向かう。そして、月に向かっていたコロニーは、デラーズ・フリートとアナハ

大輪の花を咲かせるかのような形状を持つラビアンローズ。その花は、宇宙に散っていった人々の代償によって色づき開いているかのような禍々しさを見せる



イムの密約により、月面からのイグニッション・レーザーを受け軌道が変更され地球に向かい始めた。追撃艦隊も、ガトーの攻撃と推進剤切れにより、一隻また一隻と脱落していく。コロニーの軌道変更を知ったコウは、開発担当のルセットの協力を得て、強引に3号機を動かそうとする。しかし、それはナカトの知るところとなり、ルセットは凶弾に倒れる。駆けつけたシナプス以下乗組員によりナカトたちは取り押さえられ、3号機はアルビオンへと移された。コロニーの地球への落下を防ぐため、コウは3号機をノイエ・ジールを駆るガトーの待つ空域へと発進させる。『星の屑作戦』の成否を賭け、デラース・フリートとの決戦が今始まろうとしている。

GUNDAM 【ガンダム戦史】WAR HISTORY

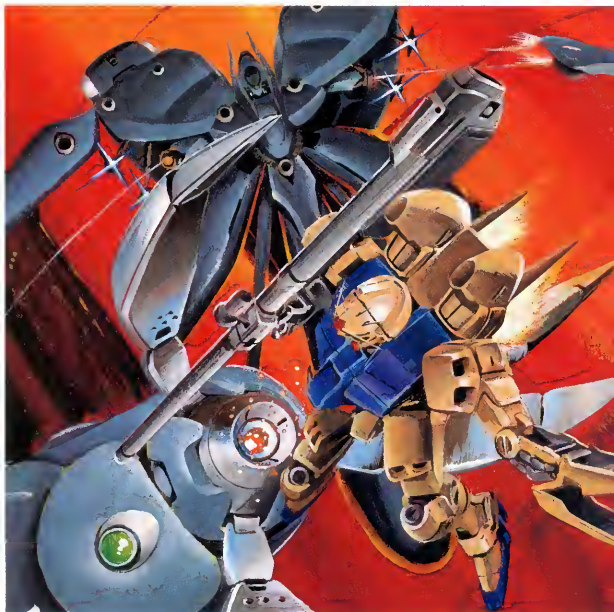


5. 駆け抜ける嵐

〜コミット・ポイント〜

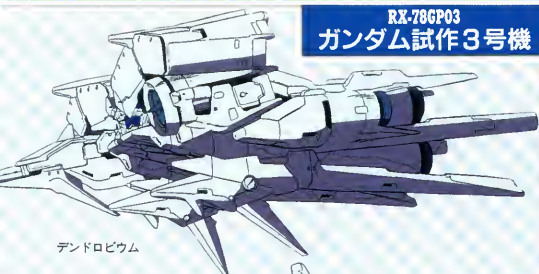
宇宙世紀0083年11月12日、地球へのコロニー落としを目指す『星の屑作戦』は、まさにその佳境を迎えていた。コロニー落下阻止の限界時間は19時34分。落下を完遂しようとするデラーズ・フリートと、それを防ごうとするアルビオンの間で死力を尽くした攻防が続いていた。だが、シーマと軍上層部の極右派の間で汚い密約がかわされていた。それは、戦場で戦っている戦士たちにとって決定的な裏切り行為だった。両者の指揮系統を押さえた極右派は、ソーラ・システムIIをコロニー破壊のために軌道上に配置する。デラーズの理想を実現しよう

地球の引力に悲鳴を上げるコロニーの周りで、強大な力を秘めた試作機たちがぶっかかり合う。しかし、それも傍目から見ればあたかも星の屑のかげらにしか見えない。



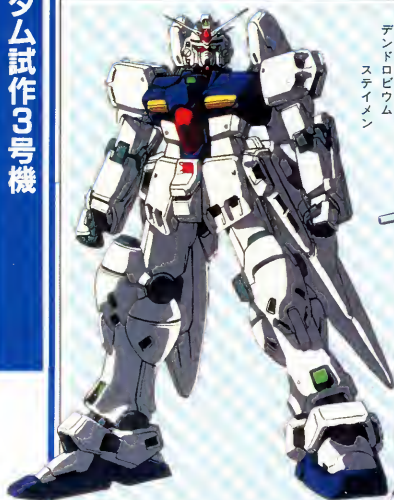
とするアナベル・ガトー、自らの利益のために卑劣な行爲をも辞さないシーマ・ガラハウ、そして戦士へと成長したコウ・ウラキ、コロニー落下の瞬間が刻一刻と近づく中、三者それぞれの思いを込めて三つ巴の決戦が始まる。ソーラ・システムIIの集める光のエネルギーは、そんな思いを意にも解さずその宙域にある物質を敵、味方を問わず焼き尽くそうとするかのように焦点を集約させていた。一年戦争後最大の嵐となった「星の屑作戦」を巡る攻防戦が終わりを告げようとしている。コロニーは、地球へと落下し、かつての悪夢を繰り返すのか。戦いの中、まだ戦士たちが星の屑として消えていくのか。最大の暴風が吹き荒れ始めている。

RX-78GP03
ガンダム試作3号機

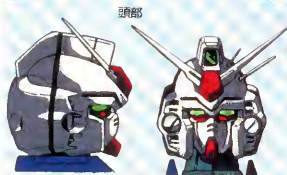


デンドロビウム





デンドロビウム
ステイメン



頭部



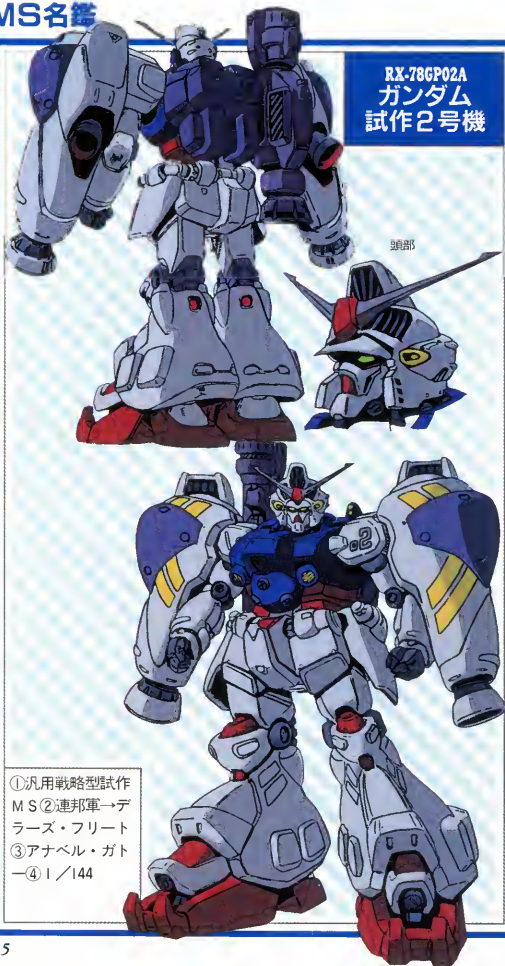
- ①宇宙用攻撃型試作機動兵器
- ②連邦軍
- ③コウ・ウラキ
- ④1/144 (ステイメン)

RX-78GP01-Fb
ガンダム試作1号機Fb

足裏

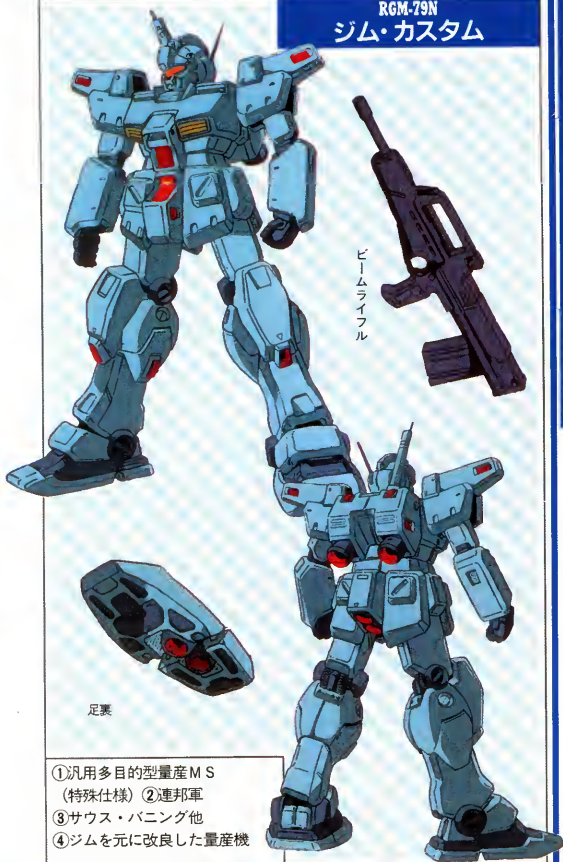
- ①汎用多目的型試作MS
- ②連邦軍
- ③コウ・ウラキ
- ④1/144

RX-78GP02A
ガンダム
試作2号機



①汎用戦略型試作
MS②連邦軍→デ
ラーズ・フリート
③アナベル・ガト
ー④1/144

RGM-79N
ジム・カスタム



足裏

- ①汎用多目的型量産MS
(特殊仕様) ②連邦軍
- ③サウス・バニング他
- ④ジムを元に改良した量産機

RGC-83
ジム・キャノンⅡ

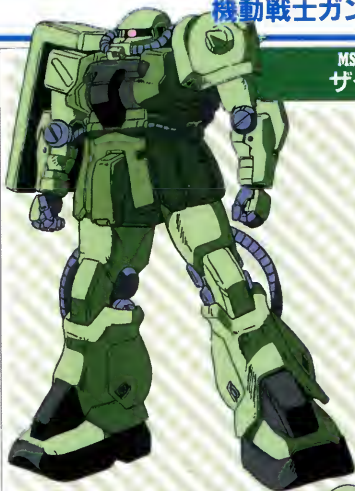


シールド表

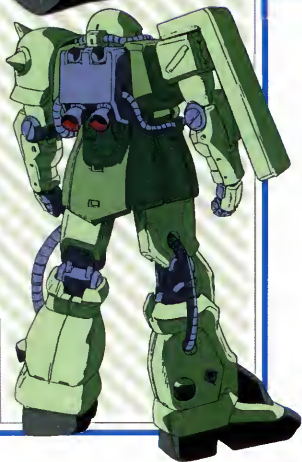
シールド裏

- ①汎用中距離支援型量産MS
- ②連邦軍
- ③チャックキース他
- ④ジム・キャノンの改良機

MS-06F2
ザクⅡ



足裏



- ①汎用多目的型量産MS
- ②デラーズ・フリート
- ③——
- ④1年戦争最多の普及機

MS-21C
ドラッツェ



- ①宇宙用攻撃型量産MS
- ②デラズ・フリート
- ③ ———
- ④宇宙戦専用の機体

MS-14Fs
ゲルググM指揮官用



- ①宇宙用戦闘型量産MS
(特殊仕様) ②デラーズ・フリー
ト③シーマ・ガラハウ他
④ゲルググの強化改良型

MS-14F
ゲルググM



- ①宇宙用戦闘型量産MS
- ②デラズ・フリート
- ③—
- ④ゲルググの強化改良型

MS-09R I
リック・ドムⅡ



- ①汎用攻撃型量産MS
- ②デラーズ・フリート
- ③カリウス軍曹他
- ④リック・ドムの改良機

AGX-04

ガーベラ・テトラ



- ①汎用強襲型試作MS
- ②デラーズ・フリート
- ③シーマ・ガラハウ
- ④1/144

AMX-002/AMA-X2
ノイエ・ジール



- ①宇宙用攻撃型試作M A
- ②デラーズ・フリート
- ③アナベル・ガトー
- ④アクシズで製造された試作M A

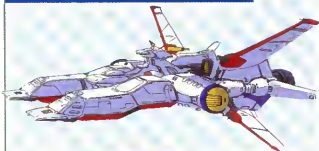
● 0083メカ名鑑 ●

FF-XI-Fb コアファイター II-Fb



- ①小型特殊戦闘機
- ②連邦軍
- ③コア・ブロックに変形し、GP01-Fbの操縦システムとなる。1号機の改良とともに換装され、同様に宇宙戦仕様となった。

連邦軍強襲揚陸艦 アルビオン



- ①強襲揚陸艦
- ②連邦軍
- ③就航したペガサス級の新型艦。数々の新装備を搭載。新型ガンダムテスト運用の母艦となる予定だった。

連邦軍宇宙巡洋艦 サラムス級



- ①巡洋艦
- ②連邦軍
- ③1年戦争時に使用されていたサラムス級巡洋艦を改良したもの。特に、火力関係が強化されている。旧型にかわり実戦配備中。

連邦軍強襲揚陸艦 ペガサス級



- ①強襲揚陸艦
- ②連邦軍
- ③MSの運用を基本として設計された艦。
“木馬”と呼ばれる特殊な船体が特長。1年戦争後期から特殊任務などに使用されていた。

デラース軍宇宙巡洋艦

ムサイ級



①軽巡洋艦

②デラース・フリート

③1年戦争後期に生産されたムサイ級の巡洋艦。前期型に比べ、火力を中心とした強化とMSの運用面の改良が施されている。

デラース軍宇宙巡洋艦

ムサイ級シーマ艦隊仕様



①軽巡洋艦

②デラース・フリート

③シーマ艦隊が使用している後期生産型のムサイ級巡洋艦。艦隊色が異なる以外は、特別な仕様の違いは施されていない。

デラース軍宇宙機動巡洋艦

ザンジバル級リー・マルレーン



①機動巡洋艦

②デラース・フリート

③シーマ艦隊に旗艦として使用されているザンジバル級。火力やMSの発着方法などに関して、若干の変更が施されている。

デラース軍宇宙戦艦

グワジン級グワデン



①戦艦

②デラース・フリート

③エギーユ・デラース自ら乗り組み、デラース・フリートの総旗艦となるグワジン級の戦艦。艦橋は全部隊の指令所を兼ねる。

ムサイ級
グワデン

●0083キャラクター名鑑●

①所属 ②身分 ③声優

コウ・ウラキ



ノーマルスーツ



- ①連邦軍
- ②少尉→中尉(戦時階級)
- ③堀川 亮

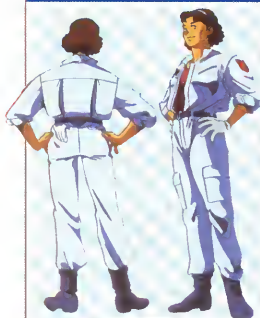
ニナ・パープルトン



- ①アナハイム
- ②システムエンジニア
- ③佐久間レイ

コウ・ウラキ、ニナ・パープルトン

モーラ・バシット



- ①連邦軍
- ②整備士長
- ③伊倉一寿

チャック・キース



- ①連邦軍
- ②少尉
- ③山田義曜

サウス・バニング



- ①連邦軍
- ②大尉
- ③菅原正志

エイパー・シナプス



- ①連邦軍
- ②大佐
- ③大塚周夫

チャック・キース、モーラ・バシット

ベルナルド・モンシア



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③茶 風林

アルファ・A・ベイト



- ①連邦軍
- ②中尉→大尉(戦時階級)
- ③戸谷公次

イワン・パサロフ



- ①連邦軍
- ②大尉
- ③岸野一彦

チャップ・アデル



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③幹本雅之

ウィリアム・モリス



- ①連邦軍
- ②少尉
- ③巻島直樹

ジャクリーヌ・シモン



- ①連邦軍
- ②軍曹
- ③荒木香恵

ピーター・スコット



- ①連邦軍
- ②軍曹
- ③菊池正美

クレナ・ハクセル



- ①アナハイム
- ②ラビアンローズ所長
- ③一城みゆ希

ルセット・オデビー



- ①アナハイム
- ②システムエンジニア
- ③勝生真沙子

アGRAM・バリダ



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③田原アルノ

ピーター・スコット、クレナ・ハクセル

アナベル・ガトー



- ①デラーズ・フリート
- ②少佐
- ③大塚明夫

シーマ・ガラハウ



- ①デラーズ・フリート
- ②中佐
- ③真柴摩利

ヴィリィ・グラードル エギーユ・デラーズ



- ①デラーズ・フリート
- ②少佐
- ③稲葉 実



- ①デラーズ・フリート
- ②中将
- ③小林清志

ハマー・カーン デトロフ・コッセル

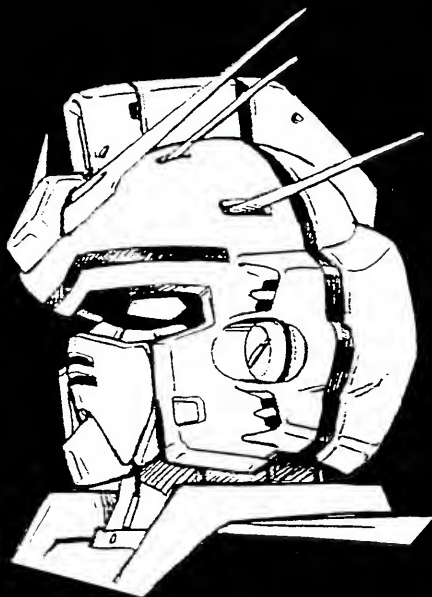


- ①アクシズ
- ②宰相
- ③榊原良子



- ①デラーズ・フリート
- ②大尉
- ③掛川裕彦

エギーユ・デラーズ、ハマー・カーン



MS開発史

M. S. Development History

●第二世代MSは連邦、公国の双方の技術の優劣を比較検討し、対費用効果などからもっとも高効率の機体を追及した結果生み出された。MSのスタンダードは、この時期の技術的研鑽がなければ誕生しなかっただろう。

U.C.0080年代のMS①

デラーズ・フリートの決起は、連邦軍の首脳陣に様々な思惑を生んだ。もともと彼らは一年戦争の戦後処理に忙

宇宙世紀にもたらしたものは、MSが利益を生み出すことを立証した点に集約される。

殺されてはいたが、それらの活動のうちに実際のな問題解決に結び付くものは何ひとつなく、一年戦争がいかなる受益者も生み出さない空虚な戦争であったことを確認するだけの作業だった。一年戦争が残したものは、その後、MSの開発、製造が産業として成立することを知った各企業による戦時特需に頼らない開発体制の確立だけだった。連邦軍や連邦政府首脳の手には、実質的にまったく新たな産業の一分野の盛衰が委ねられていることになる。一年戦争が

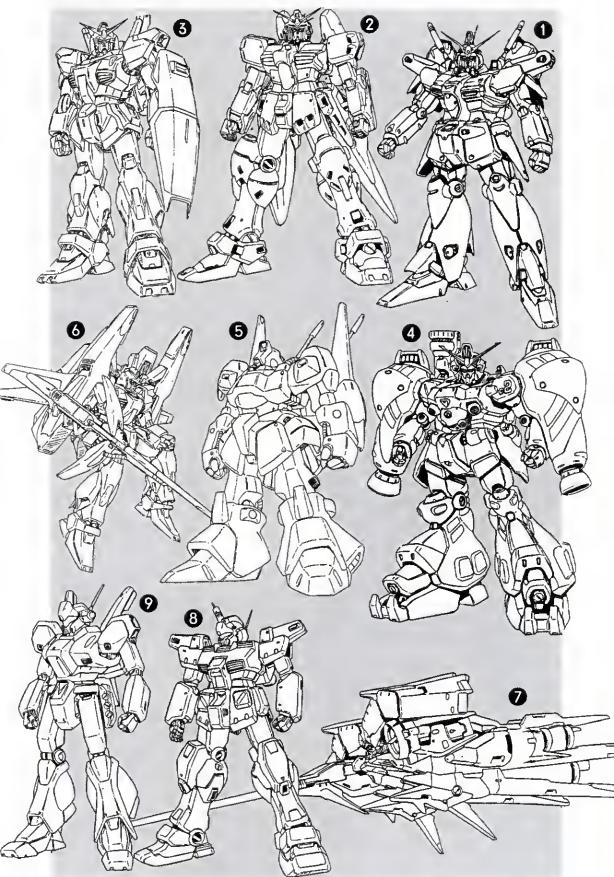
それらの企業のうち、MSの有効性にいち早く着目し、終戦当時最大最新の開発規模を持っていたジオニック社を始めとする公国系のMS産業を吸収合併することで急成長を遂げたアナハイム・エレクトロニクス社（以下AE）が、戦後のMS開発の主導権を握るために奔走したのも、MS産業が利益を生み出すことのできる分野だったからだということができる。AE社は、未曾有の戦争を体験した直後の連邦軍の上層部に戦前から兵器供給企業として食い込んでいたコネクションを活かし、

戦後のMS開発について連邦軍に対し一定以上のコミットを得ることに成功しており、以降のMS開発において主導的な立場を獲得することができた。連邦軍そのものも、旧公国の技術者の導入に関してかなり積極的ではあったが、民間企業程度のフットワークがなかったため、立ち上がりの時点で遅れをとっていた。ちなみに、連邦軍とAE社ではいわゆるジオン系技術者獲得の傾向がはっきりと二分されているといわれている。AEでは主に基本技術を含むMSの設計、建造、開発に従事する技術者を優先して採用したのに対し、連邦軍ではニュータイプ（以下NT）や生物化学技術に携わった者たちを優先していた。一般には、連

邦においては基礎研究がまったくなされていなかったNTに対する理解を獲得するためだったとされているが、本来は既にNTの軍事利用を考えていたというのが妥当なところだろう。

この当時のMS開発は、基礎技術と運用の実効性が確認された新規の兵器を、今後の戦略にいかに関わり込んでいくかという模索の時期を迎えていた。様々な戦略や戦術に柔軟に対応できたMSは、今後の軍事行動に不可欠なものであるという認識は、軍部ばかりでなく政府レベルでも認知されていた。戦後であるにもかかわらず、準戦時ともいえる体制でMS開発が行われたのも、おおむね以上のような経緯があったためである。

MS Development History



U.C.0080年代のMS②

MSの開発が戦時にも増して活発化したのは、デラーズ・フリートなどによる一連

の反地球連邦運動が今後とも活発になるだろうことが予想されたためもあった。デラーズ抗争中に観艦式を執り行ったことを例に引くまでもなく、連邦軍は伝統的に反抗勢力に対して示威行動を採る傾向にある。純粹に軍事的な均衡と優位を保つ目的で立案された「ガンダム開発計画」は、試作2号機強奪事件などが派閥抗争に利用され、極右派の台頭を惹起する結果を招いた。戦後の和平条約などを推進した穏健派の保守勢力は、その多くがこの時点で首脳部の主流からスポイルされていた。

デラーズ抗争そのものは、公式記録からは抹消された。

連邦軍が「核兵器を使用することを目的とした兵器の開発を行っていた」などということがあつてはならなかったからだ。また、旧世紀中に、原子力発電所の災害は究極的には天災と同じであると規定した国家政府があつたように、コロニー落下の責任所在もややむやみにされた。コロニーの落下を「事故」として処理するため、デラーズ抗争に関係する一切の公式記録は削除された。それは「ガンダム開発計画」そのものも含み、それまで行われていたMSに関する研究成果や技術そのものも封印されてしまった。このこ

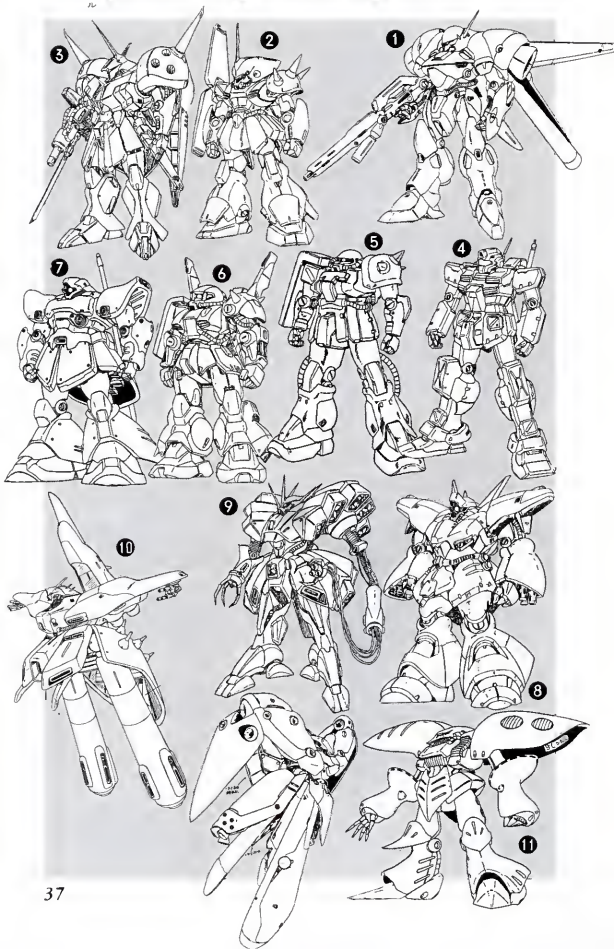
とは以後、グリプス抗争時までのMS開発を大幅に停滞させる要因となる。逆に、ティターンズとエウ・ゴの抗争が激化、表面化した時点でのMSの急激な進化和分化は、少なくとも、こうして封印されていた技術の露出があつたためだと考えられている。ただし、ムーバブル・フレーム構造や、全方位モニターなどといった、一年戦争末期には提案されていた技術の確立などは公開された。それまでに計上されていた予算に見合った成果を発表する必要があつたからである。

それら制限のあるなかで、MS製造の最大手であるAE社には、企業機密保持の必要もあつて、極端な情報管制を伴う事業部制を採用した。こ

で、一旦融合した連邦系と公国系の技術の分化が再び始まることになる。後年『手のしっていることを足が知らない』とまで言われる横の連絡の悪さや非効率もここに起因している。しかし、兵器の開発に瑣末な制限が加わるのは自明のことでもある。

一方、デラーズ紛争で明らかになった連邦軍の派閥抗争など、地球圏の今後の混迷を予見したアクシズでは、生存のための作業をほぼ終了していたこともあり、工作作業機器との兼用MS以外の機体の開発が本格化していった。ことに、以後MSの建造に欠かすことのできないガンダリウムガンマの開発が済んでいたことにより、アクシズ製MSの高性能化は順調に進んだ。

① A G F-04 ガーベラ・テトラ ② R M S-108 マラサイ ③ A M X-104 R・ジャジャ
 ④ R G M-79 パワード・ジム ⑤ M S-96 F2 ザク II ⑥ R M S-106 ハイザック ⑦ M S
 -09 R 11 リックダム・ツヴァイ ⑧ A M X-009 ドライゼン ⑨ A M X-103 ハンマー
 ハンマ ⑩ N Z-333 a・アジュール ⑪ A M X-004 キュベレイ ⑫ A M X-2 ノイエ・ジール



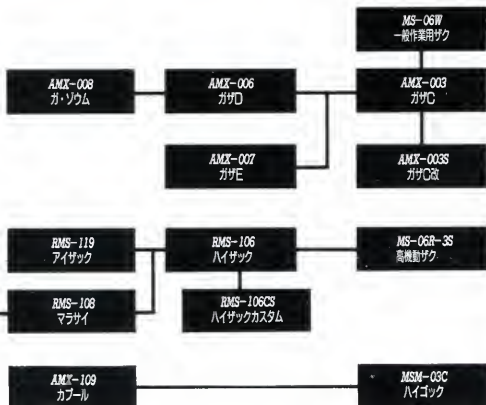
MSの開発系統

MSの開発技術に関しては、基本的にアクシズに分があった。MSを実用化したのはジオン公国であつたし、基礎研究から周辺技術まで、総合的な環境を含め、技術的にはアクシズの方が先行していたのは事実である。しかし実際には、アクシズがネオ・ジオンを

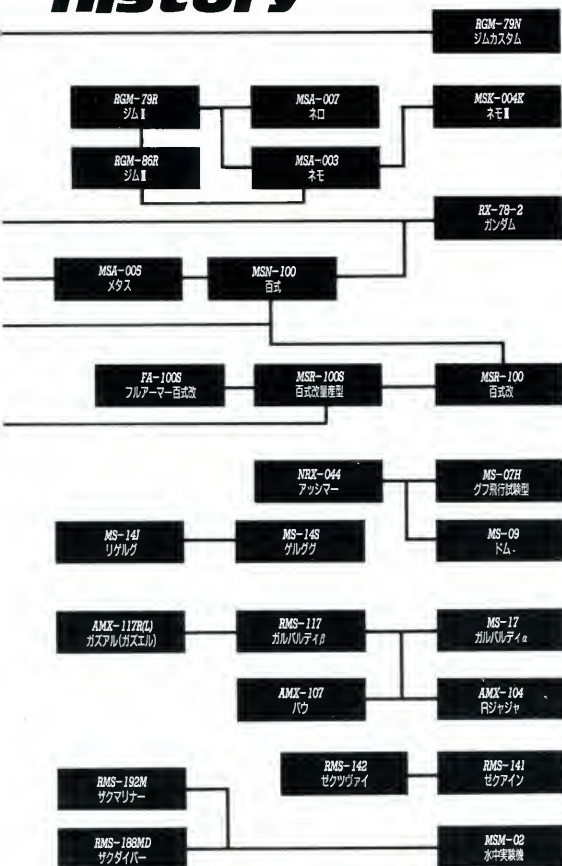
のため戦力が疲弊、消耗しており、充分な対抗策を講じることができなかった。

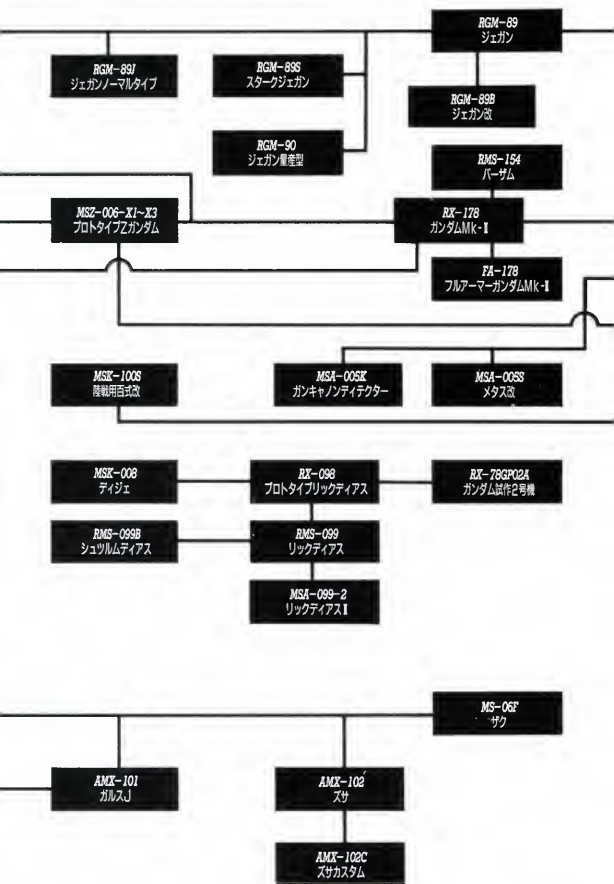
標榜する時点で連邦とアクシズ製のトップクラスのMSに、性能的な差はほとんど存在しなかった。それは、アクシズが窮乏生活を強いられていたという事実と、連邦が公国系の技術を導入したことによる相乗効果がある。しかし、ネオ・ジオンが本格的に参戦してきた時期、連邦軍はティターンズとエウーゴによる内戦

ともあれ、この時期のMS開発は、非常に混沌としており、いわゆる開発系統も、その根拠は非常に希薄なもので、厳密な区分けも関連づけも、ほとんど無意味なものだといえる。ただし、研究機関レベルの関係や技術、機体の供与、流出、漏洩は実際にあったとされるため、すべての機体が無関係というわけでもない。また、設計、開発のレベルでは既存の機体やノウハウを参照するのは当然であり、その意味でいえば、全ての機体は関わりがあると極論することも不可能ではない。

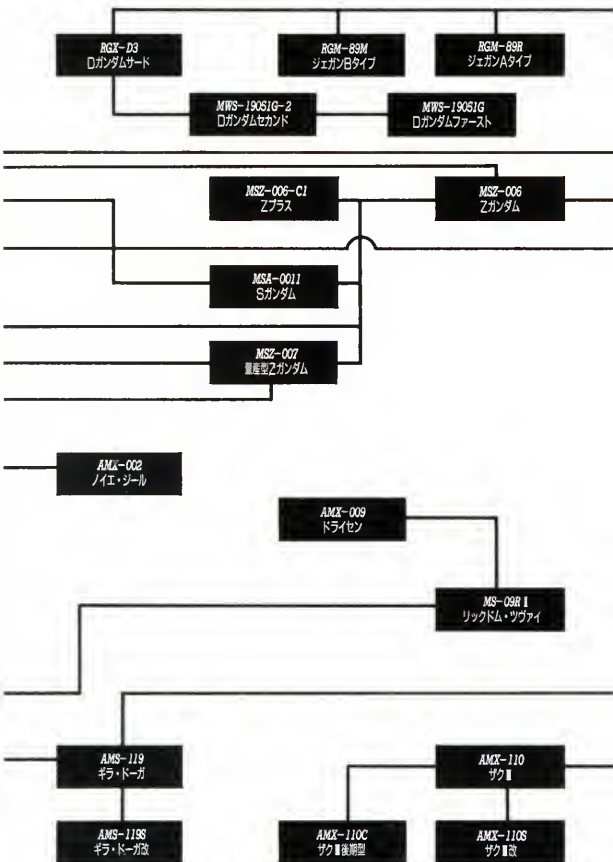


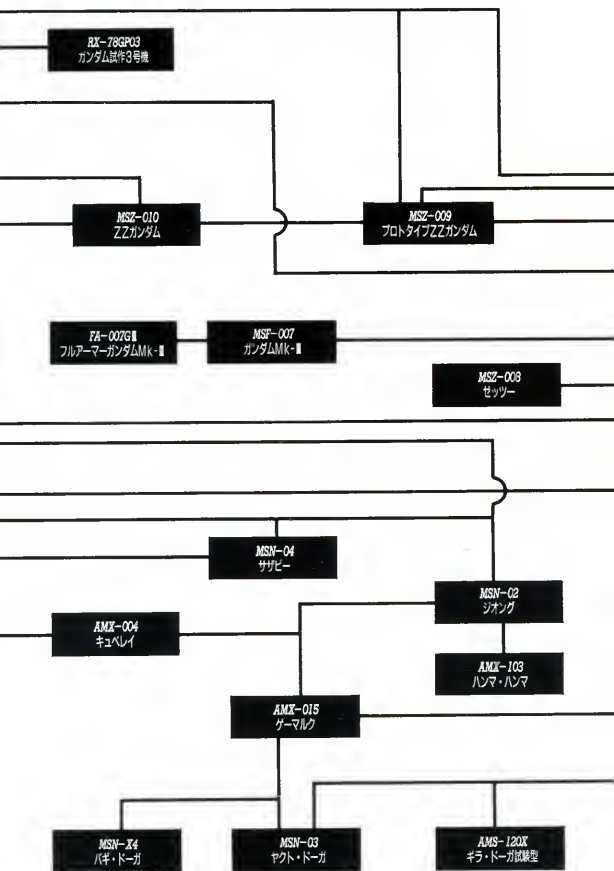
MS Development History

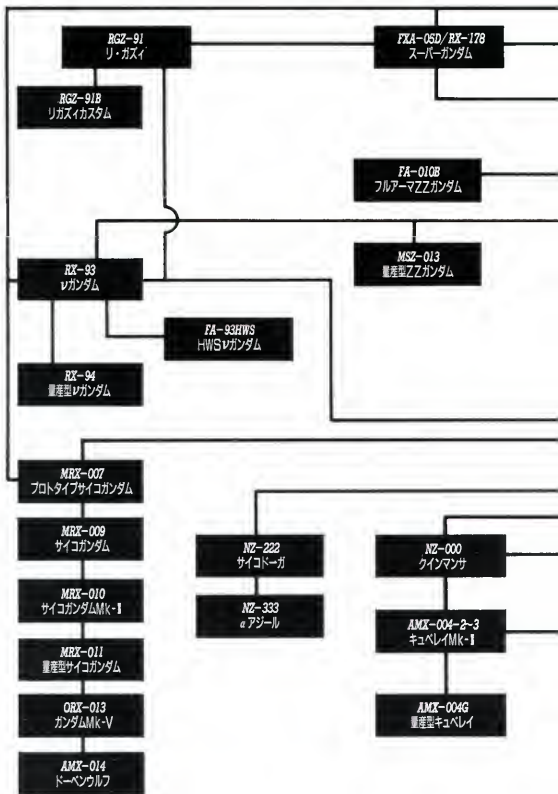




MS Development History







MS Development
History

MMS

【MS用語辞典①】

Iフィールド～サイサリス

Iフィールド【I FIELD】

ミノフスキー物理学の応用で生まれた、メガ粒子砲に使用されるメガ粒子の偏向能力を持つ一種の力場のこと。メガ粒子に対する偏向能力を持っているため、大出力で指向性を持たせずに使うとビームバリアーとして機能するが、エネルギーの消費が膨大なため、長時間の使用、あるいはシステムの小型化は非常に難しい。アラート勤務【ALERT HOURS】

MSパイロットが緊急発進に即座に対応できるように待機している状態。

アンノウン【UNKNOWN】

所属不明機のこと。しかし、戦闘区域で識別信号を出していない場合は即座に敵機と見なされる。

ウィッシュブーン【WISHBONE】

MSの戦闘フォーメーションのひとつ。ただし、正規の名称ではなく、各チームそれぞれに独自に使用している言い方である。

HUND【HEAD UP DISPLAY】

モニター上で、パイロットの前方視界を妨げずに数字や文字のシンボルを投影により敵機の情報などを読み取らせ

ようとするもの。

エバリユーションモニター

【EVALUATION MONITOR】

情報評価画面。GPO3の

複雑な火器管制を統括するシ

ステム。教育型コンピュータ

ーと連係しており、敵機情報

・自機状況・戦況分析による最

適火器選択・換装同期判断な

どを表示・実行する。

オーキス【ORCHIS】

①GPO3のアームド・ベ

ース・ユニットのコードネー

ム。②蘭の花のこと。

オーバーロード【OVER LORD】

必要以上のエネルギーを送

り、サーベルのパワーを上げ

ること。伝達系の過負荷にな

るため長時間は使用できない。

送り狼【A DEMON CHAPERON】

ヒットアンドアウェイ攻撃

をしてきた敵機に対して出す追撃機のことをあらわす隠語。

強制開放【COMPULSORY OPEN】

MSの機体の外部からの操

作により、各部のメンテナンス

スハッチを開けること。

582MHz【582 MEGAHERZ】

アナハイムの試験機体で通

常通信に使用されている周波

数帯。コンペイ島での戦闘に

おいて、この周波数でコウは

ガトーと会話をかわす。

コンパス【COMPASS】

羅針儀。電磁波などを感知

することにより、方位、進路

をはかる器械。ワイアット少

将の観艦式での演説は、通信

規制を行なっていないかったの

で、ガトーの部隊はこれを傍

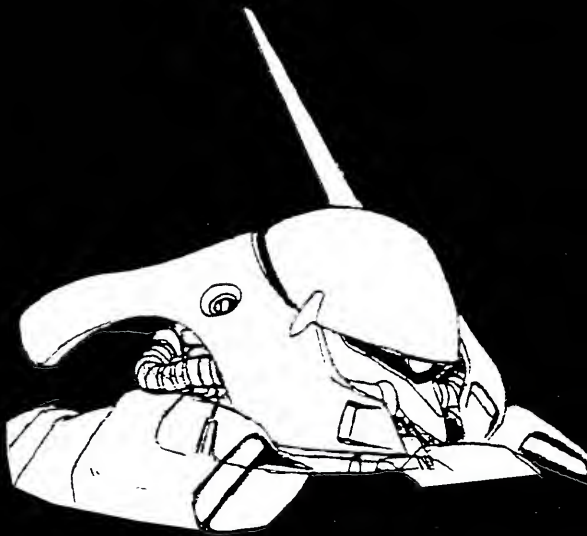
受してコンペイ島への方位を

確認する。

サイサリス【PHYSALIS】

①GPO2Aのコードネーム。

②花の名前、「ぼうずき」の学名。花言葉は「偽り」。

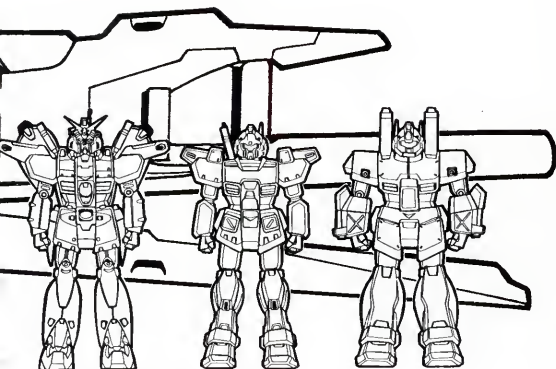


MS性能比較

An Ability-comparison of M. S.

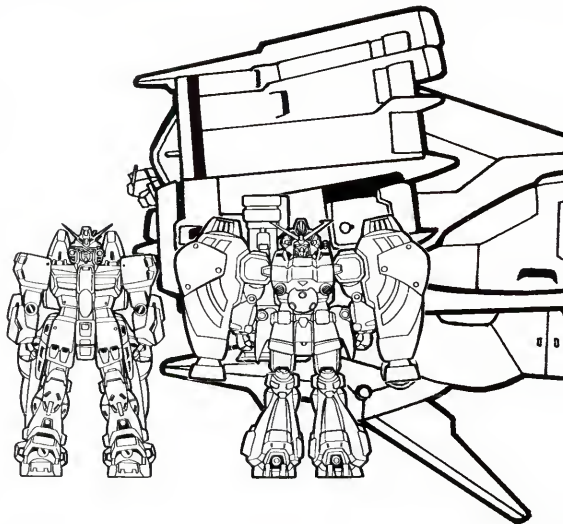
●この時期に試作された機体の中には、スペック的には80年代後半の機種を上回るものがいくつかあった。それは一種の仇花にすぎなかったが、その後のMS、MAが何を指向しているかを端的に顕わしていたということもできる。

主スラスター推力 (kg)	180°姿勢 変換(sec)	主武装
45,000×4 13,500×4	0.8	60mmバルカン×2, ビームガン×2 ビームサーベル×2, ビームライフル
32,000×4 6,800×4	1.1	60mmバルカン×2 ビームサーベル×2, 専用バズーカ
377,500×6	—	ロングライフル×1, 大型ビームサーベル×2 1 フィールド・バリア×1, ビームライフル バズーカ、爆導索、ミサイル・ポッド その他
40,000×2 42,000×2 12,000×2	0.8	ビームサーベル×2、ビームライフル、 その他バズーカなど
30,000×2 1,870×4	1.5	60mmバルカン×2、ビームサーベル ジム・ライフル
13,000×4 1,870×4	1.6	60mmバルカン×2, ビームサーベル ビームキャノン×2, ジム・ライフル

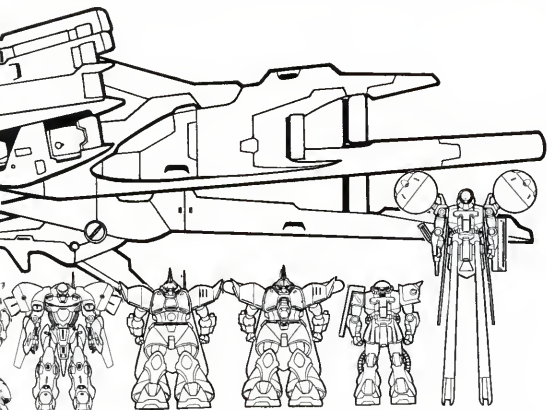


MS・MA性能比較

形式番号／名称	全高(m)	自重／ 総重(t)	ジェネレータ (kg)	
RX-78GP01-Fb ガンダム試作1号機フルバーニアン	18.5	43.2 74.0	2,045	
RX-78GP02A ガンダム試作2号機	18.5	54.5 83.0	1,860	
RX-78GP03 ガンダム試作3号機	全長:140.0(砲含まず:73.0) 全高:38.5 全幅:62.0	226.4 453.1	38,900	
RX-78GP03S ガンダム試作3号機ステイメン	18.0	41.6 70.0	2,000	
RGM-79N ジム・カスタム	18.0	42.0 57.6	1,420	
RGC-83 ジム・キャノンII	18.0	47.3 66.9	1,420	

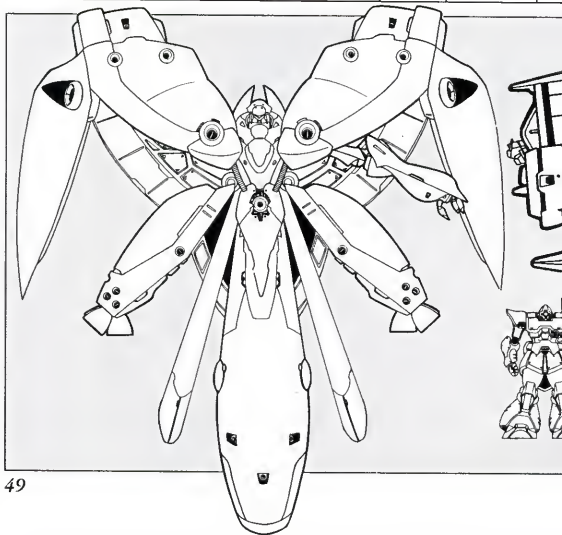


主スラスタ推力 (kg)	180°姿勢 変換(sec)	主武装
20,500×2 3,100×4	1.7	120mmマシンガン、ヒートホーク
20,500×2 7,000×2	1.6	110mm速射砲×2, ビームサーベル×2 90mmマシンガン
20,500×3 7,000×4	1.5	110mm速射砲×2, ビームサーベル×2 40mmバルカン×2, ビームライフル
28,000×2 20,500×3	—	ビームサーベル、40mmバルカン
21,000×2 7,000×2	2.1	ヒートサーベル、レーザー砲 その他マシンガンなど
56,000×2 56,000×1 13,500×4 56,000×2 56,000×3 13,500×4	0.9	110mm機関砲×4、ビームサーベル×2 ビームマシンガン
359,000×1 204,000×1 125,000×1	—	メガ・カノン砲×1, 偏向メガ粒子 砲×9, 有線クロー・アーム×2、メガ粒子砲×6、大型ミサイルランチャー×4、大型ミサイルランチャー×24、1フィールド・ジェネレーター×4



MS・MA性能比較

形式番号／名称	全高(m)	自重／ 総重(t)	ジェネレータ 出力(KW)	
MS-06F2 ザク II	17.5	49.9 70.3	986	
MS-14F ゲルググ・M・量産型	19.2	45.1 81.3	1,440	
MS-14Fs ゲルググ・M・指揮官用	19.2	40.5 80.0	1,490	
MS-21C ドラッツェ(Dra・C)	(全長)29.8	23.9 49.0	596	
MS-09R II リック・ドム II	18.6	45.6 79.9	1,219	
AGX-04 ガーベラ・テトラ *シュツルム・ブースター 装着時	18.0	46.7 73.2 48.5 86.0	1,710	
AMA-X2 ノイエ・ジール (NEUE ZIEL)	全高：76.6 全幅：73.6	198.2 403.5	75,800	



MMS

【MS用語辞典②】

302哨戒中隊／ナイメーヘン

302哨戒中隊

【302 PATROL COMPANY】

ガトー旗下のカリウス軍曹が所属していたMS部隊。コンペイ島出撃前には3機を残すだけになっていた。

受閲艦艇【WARSHIP IN ORBIT
AL FLEET VIEW】

観艦式において観閲を受ける側の艦艇のこと。観艦式は通例、観閲部隊（観閲する側＋その付属部隊）と受閲艦艇部隊で構成される。

ジュッテ【ZITTE】

GPOOFbの使用する
ビームライフル（ボウフ・X

BRM-82A）に装備さ

れている小型ビームサーベルのこと。これにより、ライフル装備状態のままで、敵の近接兵器の緊急防御が可能となった。

スコア【SCORE】

敵機の撃墜数を示す値。

ステイメン【STAMEN】

①GPO3のMSユニットのコードネーム。②おしべのこと。

ゼフィランサス

【ZEPHYRANTHES】

①GPOOFのコードネーム。

②花の名前、「玉簾」の学名。

花言葉は、「清い愛」。

戦時階級

【SPECIAL CLASS IN WARTIME】

戦時において部隊のために支障を来さないために、指揮官の判断により特別に与えられる階級のこと。パニングの戦死後、この階級を摘要してペイトが大尉に、コウが中尉に上げられた。

第1軌道艦隊

【1ST EARTH ORBITAL FLEET】

第1地球軌道艦隊。ガトー少佐のコンペイ島襲撃の際に、観艦式に受閲艦艇として参加していた主力艦艇を失う。その後、バスク・オム大佐が臨時司令代理となり、地球近隣に待機していた部隊を率い、ソーラ・システムIIを稼働させる。

第3軌道艦隊

【3RD EARTH ORBITAL FLEET】

ジョン・コーウェン中將が指揮をとる、第3地球軌道艦隊のこと。アルビオンの所属するものが、この艦隊。地球軌道艦隊は、静止軌道内域の守備を主な行動任務とする艦隊であり、第1〜第8艦隊まで組織されている。

デンドロビウム【DENDROBIUM】

①GPO3のコードネーム。

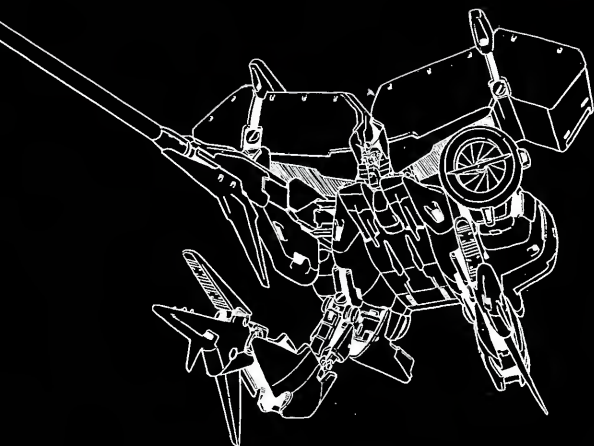
②蘭の一種の学名。花言葉は「我儘な美女」。

トレンド【TREND】

流れ弾。主に宇宙戦艦クラスの放つものをいう。

ナイメーヘン【NIMEGEN】

ヨーロッパ、かつてのオランダにある連邦軍の士官学校。コウやキースもこの卒業生である。お坊ちゃん学校といわれている。



ガンダム オフィシャル レポート

GUNDAM Official Report

●U.C. 0080年以後、宇宙世紀はふたたび混沌としていた。デラズ・フリートの蜂起は、新たな時代の混乱の火種でしかなかったのである。一年戦争からグリプス抗争までの期間における情勢の変化は、この時期に形作られたものだったのだ。

ガンダム・オフィシャル・レポート, 1

歴史

History

U.C. 0083~0086

デラーズ紛争

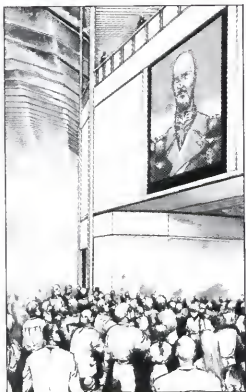
一年戦争とグリプス抗争の間に大規模な軍事行動があったことは一般には知らされていない。

この時期の連邦軍がデラーズのアピールに対して起こした行動は、ジオン残党は実質的に壊滅していることや、散発している公国残党を標榜するゲリラ活動は他にも多数に上ることを一般的な風潮として流布させることだった。連邦軍は核兵器を搭載したMSなど作ったことはないし、エギーユ・デラーズの提示したデータはインチキである、と直接的に連邦軍がそういったコメントをマスコミにのせることはなかったが、例えばこれらの情報を、いわゆるオカルト番組と同等のレベルに

落とすことは簡単だったのだ。(取材などに対する公式解答は、ほとんどが黙殺、あるいは「ノーコメントだった」無論、観艦式の開催を始め、デラーズ・フリート以外の公国残党に対する牽制や示威行動は恒常に行われており、実際にデラーズ・フリートの蜂起に対する作戦行動もとられてはいた。ただし、それら連邦軍の行動は、すべて別の理由付

けがなされていたのである。その意味に限れば、連邦軍のとった善後策は完璧だといえるほど見事なものだった。

ともあれ、強奪されたガンダム試作2号機と核弾頭は連邦にとって喉元に突き付けられた短剣である。しかし、デラーズ・フリートには、もう一枚、さらに強力な切り札があった。それが「星の屑」作戦の真の目的だったのだ。



イラスト/たけだしんご

History

歴史

年・月・日	事 柄
U・C 0001	宇宙移民開始をもって宇宙世紀に移行。地球総人口90億突破
0027	初の月面恒久都市、フォンブラウン市完成
0040	総人口の40% (約50億人) 宇宙への移民を完了
0045	小惑星ユノー (ルナツー) 月軌道に定着。サイド3にミノフスキー物理学会設立
0050	総人口は110億、うち90億が宇宙に移民
0055	シャルンホルスト・ブッホ、ブッホ・ジャンク・インク創業
0058	ジオン・ズム・ダイクン、サイド3独立宣言。ジオン共和国樹立、国防隊発足
0059	サイド3に対し連邦政府による経済圧力
0060	連邦軍、60年代軍備増強計画発動 (特に宇宙艦隊の統制) ルナツー軍事基地化
0062	ジオン国防隊、国軍へ昇格
0068	ジオン・ズム・ダイクン死亡 (暗殺の可能性あり) 次期首相はデギン・ソド・ザビ。シャルンホルスト・ブッホ、旧欧州の名家ロナ家の名を購入
0069・08・15	ジオン公国宣言。公王にデギン・ソド・ザビ。ザビ家独裁体制のため、ジオン派は追放。ミノフスキー粒子存在の実証に成功
0070・03	公国軍、ミノフスキー粒子散布による電波妨害などの特殊効果へミノフスキー効果へ検証実験に成功
0070・05	公国軍、メガ粒子砲を完成
09	連邦軍、70年代軍備増強計画によるサラミス、マゼラン級の新型宇宙艦艇就役
12	サイド7建設のため、ルナツーを月軌道の反対側へ移動
0071	ジオン公国軍兵給開発局、ミノフスキー粒子散布下における新型兵器の開発に着手。ミノフスキー物理学応用による小型核融合炉の1号機完成
0072	ジオン公国、アステロイドベルトに小惑星基地アクシズを建設
0073	公国軍、新型兵器1号機完成。MS-01の形式番号とモビルスーツ (MS) という呼称を与えられる
0074・02	公国軍、ミノフスキー型核融合炉搭載のMS-05ザクIの試作型ロールアウト
0075・05	公国軍、MS-05ザクIの実戦型ロールアウト
07	公国軍、ムサイ級軽巡洋艦の一番艦就役
0076	公国軍、地球侵攻作戦を前提とした局地戦用MSの開発に着手
0078・01	公国軍、ザクの強化型、MS-06ザクIIの量産開始
05	サイド7第1号コロニー、未完成ながら移民開始
10	ジオン公国、国家総動員令発令
0079・01・03	一年戦争勃発。ジオン公国、地球連邦政府に対し独立を宣言。宣戦布告と同時にサイド1、2、4へ奇襲敢行。NBC兵器無差別投入。コロニーの落下により、大規模な気象変動を惹起。
01・11	サイド6中立宣言
01・15	ルウム戦役。連邦軍宇宙艦隊敗北。公国軍は艦隊司令のレビル將軍を捕虜とする
01・31	南極条約締結
02・07	公国軍、地球侵攻作戦開始。
03	公国軍、占領地域の施設を使い戦力を増強
04	連邦軍、新型MSと専用強襲母艦の開発・建造を目的としたV作戦及び喪失した宇宙艦艇の麗座を主目的としたピンソン計画を同時に発動
05	宇宙要塞ソロモン完成
06	公国軍、宇宙要塞ア・バオア・クー、ソロモン、月面基地グラナダを結んだ本土防衛ライン完成。フラナガン機関設立
07	連邦軍、ビーム兵器の小型化に成功。連邦軍の新造艦ホワイトベース (WB) 進宙。RX-78ガンダム試作第1号機、ロールアウト
08	連邦軍試作型MS、サイド7で最終テスト開始。北米オーガスタ連邦軍基地においてRX-78NT1開発開始
09・18	公国軍特務部隊サイド7強襲
10	連邦軍の各工場でMSの量産開始。公国軍、対抗のため新型機を次々に実戦配備。
10・04	ニューヨーク市において地球攻撃軍司令官ガルマ・ザビ戦死
10・06	ギレン・ザビ、全地球規模の大演説を展開
11・07	連邦軍、オデッサ作戦始動。3日間の戦いの末、連邦軍の勝利に終わる
11・30	公国軍、連邦軍総司令部ジャブロー攻撃失敗。公国軍地上戦力の瓦解始まる
12・14	連邦軍、星1号作戦発動
12・05	連邦軍、アフリカ、北米で公国軍掃討戦を展開
12・24	ソロモン攻略作戦開始。公国軍敗退。宇宙攻撃軍司令官ドズル・ザビ中将戦死
12・30	デギン公王、ソーラ・レイ・システムにより死亡。連邦軍、レビル艦隊を喪失
12・31	ア・バオア・クー攻防戦。要塞内において、ギレン・ザビ総帥、キシリア・ザビ少将ともに戦死。エギーユ・デラーズ大佐、配下の艦隊を率いて戦域を離脱。ア・バオア・クー陥落。連邦軍の勝利に終わる
0080・01・01	一年戦争終結。月面のグラナダにおいて地球連邦軍とジオン共和国の間に終戦協定締結
01〜	デラーズ、アクシズ行きを拒む公国軍残党を糾合、艦隊再編成
03	デラーズ中将、艦隊を暗礁海域に移動。緊留基地「茨の園」の設営開始。以後、対外的な活動を一時休止
06	アフリカ戦線の旧公国軍、武装解除 (あくまで連邦軍の公式発表。実際に潜伏、ゲリラ化した部隊は相当数に上る)
0081・03・14	ブッホ・コンツェルン、利益の公共還元として職業訓練校を設立
03・28	公国軍残党、小惑星基地アクシズに到着

星の屑作戦

ガンダム試作2号機に装備されるMk82核弾頭は、宇宙世紀に一般的になった核融合技術が昇華され、旧世紀中に開発されたいかなる融合弾よりも高効率でエネルギー変換する。連邦軍内部では戦術核として登録されているが、その威力は実質的に戦略核を凌駕するものだった。2号機を強奪された連邦軍は、その弾頭の使用こそがデラース・フリートの目的だと考えていた。すなわち、2号機を奪還しさえすれば今回の騒動は決着すると結論したのだ。さらに言えば、2号機が強奪されたといっても、それで言質を取られたと考える將軍はひとりもいなかったのである。

受けたとしても、デラース・フリートの総力はたかが知れている。数で勝る連邦がデラース・フリートごときに遅れをとるはずがない。また、いかなる公国残党といえども、艦式の規模を見れば、その威容の前に萎縮するだろう。さらに、軍の上層部にはデラース・フリートとの接触を持っているものがあり、取引が成立すると考えていた。また、連邦軍首脳の中には、この状況を利用しようと陰謀をめぐらす勢力もあった。

デラース・フリートが立案した『星の屑作戦』は、もうひとつの側面を持っていた。地球圏のただ中で潜伏している事実を活かし、その周辺情報を収集し、全ての出来事を綿密に検討した。それは連邦やコロニー公社、アナハイム・エレクトロニクスの内部情報を入手することはもちろん、公式に発表されるあらゆるデータをも分析することで、全体を俯瞰する視点を持つて考えられたものだったのだ。これは、連邦政府も連邦軍もついに持つことができなかったもので、そのことがすべての根本的な問題の根源となっているといえる。全体を統括する義務と責任のあるものが、自分の領域以外の事々に関心をもちえないのが、宇宙世紀の本質的な問題点だったのだ。

『星の屑』作戦は、連邦が挙行する観艦式、アナハイムが開発した2号機、コロニー公社が進めるコロニー再生計画、その全てが充分にリンクしなければ、決して完遂されることはなかっただろう。



歴史

年・月・日	事 柄
05・05	ドズル・ザビ夫人（ゼナ）アクシズで病死
08・15	デラーズ・フリート、「ジオン公園国慶節」を機にゲリラ活動開始
09・17	アナベル・ガトー、デラーズ・フリートに復帰。少佐に昇進 デラーズ・フリート、アナハイムとの接触活発化
10・13	連邦軍再建計画が連邦議会で可決
10・20	連邦軍再建計画の一環としてジョン・コーウェン中将管理下、アナハイム・エレクトロニクス（以下A E）で「ガンダム開発計画」がスタートする
11	デラーズ・フリート、アクシズとの共闘を確認
0082・04	連邦軍、極秘裡にニュータイプ研究機関設立
05	第一次コロニー再生計画実施。サイド4（旧称）からサイド3へ修復可能なコロニーの移送開始
12	デラーズ・フリート、「灰の園」内の工場プラントでM Sの開発を計画
0083・01	デラーズ・フリート、「ガンダム開発計画」察知。A Eに工作員を潜入させる
03	デラーズ中将、連邦勢力の安定化を懸念し一大反抗作戦の立案を企画。反連邦勢力との関係強化
05	デラーズ・フリート、M S-21 Cの生産を開始
07・30	「星の屑」作戦計画立案
08・09	アクシズの指導者マハラジャ・カーン死亡
08・11	ハマーン・カーン（当時16歳）ミネバ・ザビの摂政に就任。デラーズ・フリートの方針を容認、支援確約
09	アクシズ、新合金「ガンダリウム・ガンマ」の開発に成功。シーマ艦隊、ガトー少佐との軋轢でデラーズ・フリートへの参画ならず A Eのフォン・ブラウン工場でR X-78 G P02 A ロールアウト
09・18	同工場でR X-78 G P01 及び F b（フルバーニアン）用換装部品ロールアウト
09・29	同工場でR X-78 G P03 ロールアウト
10・04	アルビオン、A Eのフォン・ブラウン工場でG P01、G P02 A を受領。重力下試験のためオーストラリアの連邦軍トリントン基地へ向け出航
10・09	ガトー少佐、アフリカに降下。地上の公国軍残党と合流
10・13	15:00 アルビオン、トリントン基地に到着。「星の屑」作戦発動。ガトー少佐行動開始。 21:00～ Mk82核弾頭ごとG P02 A を奪取 21:46 連邦軍の残存M S小隊がG P02 A の追撃開始
10・14	未明 ガトー少佐、G P02 A 積載のコムサイで脱出を計るもG P01によって阻止される。 早朝 バニング小隊、海岸線で交戦。G P02 A はU-801に回収されアフリカ方面へ脱出 10:51 ジャブローのコーウェン中将からアルビオンのシナプス艦長にG P02 A 奪還命令が下る。 夕刻 アルビオン、アフリカへ出航
10・16	アルビオン、アフリカへ到着。ジオン基地の探索開始
10・23	09:14 ガトー少佐、及びG P02 A、公国残党のキンバライド基地に到着。 正午～ A E技術員ニック・オービルのスパイ行為発覚。コアファイターIIでアルビオンを脱出。 13:15 キンバライド基地司令官ビッター少将敢闘躍動作戦開始。 14:01 ガトー少佐及びG P02 A はH L V で軌道上へ脱出。 14:27 キンバライド基地降伏 14:30 デラーズ・フリートのムサイ艦隊旗艦ベール・ギュント、H L V を回収 連邦軍第一地球軌道艦隊のサラミス部隊と交戦の後行方不明
10・25	シーマ艦隊、デラーズ・フリートに参加
10・28	アナハイムの大型ドック艦ラビアンローズ、G P03のトライアルを開始
10・31	09:23 ベール・ギュント、暗礁宙域秘匿航路を航行中にシーマ艦隊のリリー・マルレーンとニアミス 10:37 ベール・ギュント、暗礁宙域「灰の園」に帰還。 10:51 アルビオン、二隻のサラミスと合流、暗礁宙域搜索開始 12:19 リリー・マルレーン、暗礁宙域でアルビオン艦隊を迎撃。重力下装備のままのG P01大破 12:30 デラーズ宣言。地球全域にデラーズ・フリートの宣戦布告放送 第二次コロニー再生計画実施。サイド1からサイド3へ修復可能なコロニーの移送開始
11・01	16:00 アルビオン隊、月面都市フォン・ブラウンに到着。G P01は修理とF bタイプへの換装のためA Eの工場へ搬入
11・03	08:09 フォン・ブラウン市の資源搬入港にデラーズ・フリートの偽装連絡艦入港
11・04	10:06 A Eのリバモア実験場でG P01-F b トライアル開始 20:55 M A-06ヴァル・ヴァロの襲撃に対応してアルビオン緊急発進 21:18 G P01-F b、ヴァル・ヴァロを撃破。 21:40 アルビオン月引力圏を離脱。ソロモン海に向かう
11・05	07:00 ガトー艦隊ソロモン海作戦域に向け「灰の園」を出航。 航行中のアルビオン、デラーズ・フリートの小部隊と遭遇し砲撃戦を展開 ガトー艦隊、ソロモン海作戦域に到着。待機
11・08	14:52 連邦軍戦艦バミンガムがシーマ艦隊と交戦。アルビオン、救援のためバニング小隊を出動させる。 15:16 シーマ艦隊担当作戦区域へ移動。 15:27 バニング大尉戦死。

Histry

コロニー落とし

コンペイ島宙域で挙行された観艦式は、ガンダム試作2号機によって核攻撃された。周辺宙域は重要警戒域に指定され、通常以上の警戒網が敷かれていたが、「ソロモンの悪夢」と異名を取るデラーズ・フリートのエースパイロット、ガトー少佐の前に警戒網は突破され、密集していた連邦軍宇宙艦隊は旗艦のバーミンガムを始め、その約三分の二が航行不能以上の損害を被った。その直後、サイドーからサイド3へ移送中のコロニーがシーマ艦隊によって乗っ取られ、月への落下コースに入った。ここでエギーユ・デラーズは、月へのコロニー落としを連邦に対して宣告した。

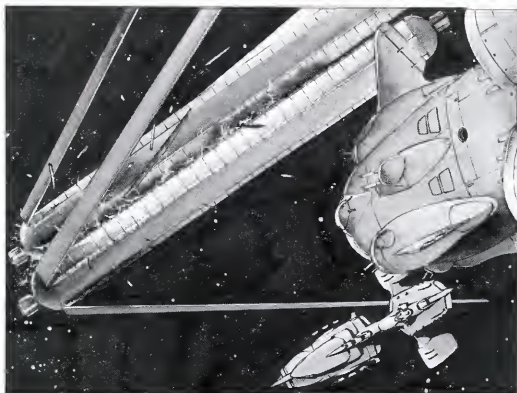
星の屑、作戦の目標はコロ

ニー落としだったことを知った連邦艦隊は、被害の收拾もそこそこ、月へ向かうデラーズ艦隊とジャックされたコロニーを追った。

連邦軍首脳はデラーズから出された要求を一蹴した。三分の一となった艦隊でもデラーズ・フリートを掃討するには充分すぎる数だったからだ。

一方、2号機との戦闘で1号機を失い戦力が激減したアルビオンは、ラビアンローズヘガンダム試作3号機の受領に向かう。また、ガトー艦隊はノイエ・ジールなどを携えるアクシズからの先遣艦隊と接触し、シーマ艦隊はデラーズ艦隊から補給を受け、次の作戦行動に備えていた。

この時点でアクシズ先遣艦隊は中立を表明していた。



歴史

年・月・日	事 柄
11・10	アルファ・A・ベイトは大隊に、コウ・ウラキは中尉に戦時昇進 00:00 デラーズ・フリート旗艦グワデン、艦隊を率いて「灰の国」を出航 02:23 アクシズ先遣艦隊、地球圏に帰還 13:00 連邦軍観艦式が「一年戦争」による中止以来、4年ぶりに舉行される 14:31 ガトー少佐、観艦式を襲撃。G P02AのMk82核弾頭を使用。グリーン・ワイアット大尉戦死。参加艦艇の2/3が航行不能以上の損傷という大損害を被る 15:05 G P01-FbとG P02Aが交戦。両機ともに爆砕 16:27 シーマ艦隊、移送中の2基のコロニージャックを敢行 16:50 アルビオン、ラビアンローズに針路変更 21:08 連邦軍哨戒機ストロベリー9がシーマ艦隊のコロニージャックを発見 21:11 シーマ艦隊、コロニー2基のミラーの各一枚を爆破 21:26 2基のコロニーが激突。内、1基が月に落下を開始(コロニーの月面着陸まで949分) 21:35 連邦軍の残存艦艇、コンペイ島を緊急出撃。シーマ艦隊とコロニーの追撃を開始
11・11	04:14 デラーズ・フリート本隊、シーマ艦隊と合流。コロニー護衛陣形をとる 05:35 ガトー艦隊、アクシズ先遣艦隊と合流。アクシズ製MAノイエ・ジールの供与を受ける 05:57 アルビオン、ラビアンローズに接舷 08:51 連邦艦隊の先鋒部隊とノイエ・ジールが交戦 09:25 ガトー艦隊とアクシズ先遣艦隊、デラーズ・フリート本隊と合流 10:40 デラーズ・フリート、月面の軌道間輸送レーザー(通称:イグニッション・レーザー)を用いてコロニーの推進剤に点火。コロニーは地球落下軌道へコースを変更(地球着陸まで2274分)連邦軍追撃艦隊は燃料不足のため月軌道より説出不能となる 12:12 ルセット・オデビー、死亡 15:18 アルビオン、G P03と共に発進
11・12	10:06 先行したG P03、デラーズ・フリートと交戦を開始(コロニー着陸まで868分、着陸阻止限界点まで568分) 10:50 G P03とノイエ・ジール、戦闘開始 13:51 月軌道上の連邦追撃艦隊、補給終了。デラーズ・フリート追撃を再開 17:15 シーマ・ガラハウ、グワデンのブリッジを占拠 19:34 コロニー、着陸阻止限界点を突破(地球着陸まで300分) 20:15 エギーユ・デラーズ中尉、戦死 21:47 ソーラ・システムII、照射(地球着陸まで166分47秒) 22:41 シーマ・ガラハウ中佐、戦死
11・13	23:11 ガトー少佐、コロニーの最終軌道調整を完了(地球着陸まで82分54秒) 00:00 ソーラ・システムII、2回目の照射 00:13 南米ジャブロー上空をコロニーが通過(現地時間11月12日20時13分)
※情報公開法により係争中	
12・04	ジャミトフ・ハイマン提唱によりティターンズ結成。旧公国軍残党狩り活発化。
0084・06・17	連邦議会、地球圏の現状維持を発表
07・08	ブッホ・コンツェルンの球形コロニー完成
09・21	シャア・アズナブル、地球圏に帰還。非合法で連邦軍の軍籍を得る
0085・07・31	30パンチ事件。ティターンズがサイド1・30パンチに毒ガスを注入し住民を虐殺。反地球連邦運動(A・E・U・G)活発化
09・08	グリプス2、サイド7に建設される
0086・02・06	アクシズ、地球圏に向けて発進
0087・03・02	エウゴ、グリプス1より試作MS3機を盗奪
04・29	連邦政府、木星エネルギー輸送船ジュピトリスの地球圏帰還をもって惑星開発計画の規模縮小を発表
05・11	エウゴ、地球連邦軍のジャブロー基地を攻撃
06・29	ティターンズ、ホンコン・シティを襲撃
08・10	ティターンズ、アポロ作戦発動。フォン・ブラウン市を襲撃
08・17	エウゴの指導者、ブレックス・フォーラ准将暗殺
10・12	アクシズ、地球圏に帰還
11・16	エウゴ、ダカールの連邦議会を占拠。全世界にティターンズの実体を告発
12・07	ティターンズ、グリプス2のコロニーレーザーでサイド2・18パンチを破壊
12・14	ティターンズ、サイド2・21パンチを毒ガス攻撃。住民は全員死亡
0088・01・18	アクシズ、ゼダンの門の旧ア・バオア・クーを破壊
02・02	エウゴ、メーメルシュトローム作戦発動。艦隊戦によりグリプス2を占拠
02・22	エウゴ、アクシズ、ティターンズによる艦隊戦。ティターンズ敗北。コロニーレーザー破壊。エウゴ、戦力の過半数を喪失。シャア・アズナブル行方不明
06・06	ネオ・ジオン、先遣部隊を地球に降下させる
08・01	ネオ・ジオンの本隊、地球侵攻

Histry

ティターニズの台頭

連邦の追撃艦隊がコロニーに随伴するデラース艦隊と接触する寸前、シーマ艦隊に強迫された月面都市のイグニッション・レーザーによってコロニーの推進剤が点火された。推力を得たコロニーは、コースを地球に向けた。連邦軍首脳はようやくデラースの真意

を知った。しかし、無補給のままの追撃艦隊は月軌道からの離脱さえ不可能だった。

3号機を回収したアルビオンは、ラビアンローズからデラース艦隊の迎撃に向かう。コロニー落着を食い止める唯一の方法は、ジャブローへの軌道修正のための推進剤をコース変更を使用することだ。だが、ガトーの駆るノイエ・



ジールを始め、コロニーの護衛部隊を抜くことは困難だった。地球の軌道上に待機していたソーラ・システムがコロニーを迎撃するが、コロニーの進行は止まらなかった。さらに、デラース・フリートの一部部隊が、この抗争を軍閥体制の確立に利用しようとする連邦の勢力と結託し、戦況はより一層混沌とする。

一連の紛争は、連邦軍の体制に激烈な変化をもたらした。コロニーの落着は「事故」として発表、処理され、紛争の混乱に乗じて行われた様々な策謀により、連邦軍内部にはティターニズが結成された。また、各サイドは再編され、バンチも統合し直された。そして、地球圏は、あらたな時代に突入する。

歴史

年・月・日	事 柄
08・29	ネオ・ジオン、ダカールを占拠。旧公国軍、ティターンズ残党等を配下に治める
10・31	ネオ・ジオン、ダブリンにコロニーを落とす
11・14	連邦政府、サイド3をネオ・ジオンに譲渡。ネオ・ジオンの戦力、地球より撤退
12・25	ネオ・ジオン内でグレミー軍が謀反
0089・01・16	アクシズ、コア3に激突
01・17	エウゴ、ネオ・ジオンを制圧。ハマーン・カーン戦死。ミネバ・ザビ行方不明。
03・15	木星エネルギー輸送再開。ジュピトリスII発進
05・01	連邦軍、大質量アステロイドの管理体系を再編成
08・25	連邦軍、スペースノイド寄りのコロニーに対し経済制裁等の引き締め強化
0090・01～	エグム、NSP等、反地球連邦組織の活動活性化
02	難民収容施設として、スウィート・ウォーターを改造
03	連邦軍、外郭新興部隊 Rond、ベル隊設立
0092・08～	連邦軍、本部をチベットのラサへ移動
12・13	ネオ・ジオン、地球連邦軍に対し攻撃を示唆
12・22	シャアを総帥とする艦艇、スウィート・ウォーターの占拠を宣言
12・25	連邦軍、Rond、ベル隊を増強
0093・02・27	ネオ・ジオン総帥のシャア、インタビュー番組内で事実上の宣戦布告
03・03	ネオ・ジオン艦隊スウィート・ウォーターを発進
03・04	Stahl、連邦軍本部所在地チベットのラサに激突
03・06	ネオ・ジオン軍と連邦軍、サイド6、ロンデニオンにおいて、極秘裡に和平交渉
03・12	ネオ・ジオン艦隊、投降を偽装しアクシズを奪回。地球へ降下させるも失敗
09	連邦軍内の諜報機関であった戦略戦術研究所が海軍戦略研究所（S・N・R・I＝サナリィ）として再編
0100～	連邦軍、ジオン共和国の自治権放棄をもって、戦乱の消滅を宣言
0102～	サナリィ、連邦政府にMSの小型化を提言
0105・06～	連邦軍、反地球連邦組織に対する弾圧強化。反地球連邦運動、表面的には鎮静化
11	A E 社が連邦軍の依頼を受け小型MSの開発に着手
0106～	新規のコロニー建設再開決定。ブッホ・コンツェルン内の職業訓練校及び周辺企業の選抜メンバーによる組織が編成される。極秘裡にC・V（クロスボーン・バンガード）設立
0108・07	ブッホ・エアロダイナミクス社製小型高性能MSデッサ・タイプがロールアウト
0109	RGM-109 ヘビーガン、ロール・アウト
0110・04	エンゲイスト・ロナ、コロニー公社副総裁に就任
0111・09	サナリィによるF90の一号機ロールアウト及び各種オプションA、D、S、M、Hが本体に先行して完成
10	連邦軍、次期主力MS開発を決定。サナリィのF（フォーミュラ）90シリーズがA E 社のMSA-120を下し制式採用となる
12	フロンティアサイド（旧サイド4）再建開始
0112・02	F90運用試験用オプションL、V、P完成
06	アナハイム部内で極秘裡にシルエット・フォーミュラ・プロジェクト始動
0113・04	ハウゼリー・ロナによる「地球保全法案、過当医療廃止法案」廃案となる
0115・04	F71ロールアウト
0116・05	ラフレシア・プロジェクト構想始動。「地球保全法案」再提出
07	F91ロールアウト
0117	ブッホコロニー、一般民間人にも解放
0118	ハウゼリー・ロナ暗殺
0119	ラフレシア・プロジェクト発動
0120・10・25	ジュピトリス級輸送艦「コバヤシ丸」謎のMS部隊に襲撃される
10・28	サイド4空域でテスト飛行中のF90の試作一機が謎のMS部隊に強奪される
0121・02	F90及びF91運用テストのため連邦軍巡洋艦エイブラムズに搬入
03	F90二号機改修完了平行してI、Lタイプオプション完成
0122・08	A E 製のRXF-91ロールアウト
12	F91頭部コンピュータ換装のためフロンティアIVに搬入
0123・03・16	C・Vを名乗る謎のMS部隊がフロンティアサイドを襲撃。フロンティアIVの住民500以上が死亡。14万人が避難
03・26	C・V、フロンティアIVにおいてコスモ・バビロニアを宣言
03・30	C・Vの鉄仮面が独断でフロンティアIにおいてバグ及びラフレシアを稼働させ、コロニーシンダー内の住民を虐殺するが連邦軍のF91によって撃破。この戦いでF91大破
03・31	C・Vのドレル大隊、ザビーネ隊など、コスモ・バビロニアへ凱旋

ガンダム・オフィシャル・レポート, 2

コロニー 再生計画

COLONY RECLAIM PLAN

U. C. 0080~0084

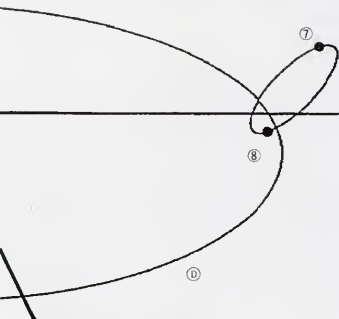
コロニーの状況

一年戦争によって宇宙世紀の人類が被った被害は甚大なものであった。戦争の初期段階で、当時の総人口の約半数が死にいたり、彼らの生活の場であり宇宙植民都市の基であるコロニーシリンダーの損壊を含め、生活空間の確保そのものが支障を来す事態を招来した。地球圏の人類を統率する義務を負うべき連邦政府の対策は常に後手にまわっており、半官半民の機関であるコロニー公社は終戦直後、コロニーシリンダーの「修繕」に奔走していた。コロニー移送計画は、今回の戦争で生まれた難民を始めとし、今後の人口増にも対処する必要から計画されたものであった。

公国と連邦は、一年戦争初

U.C.80年代前半の地球圏

- ①サイド1 ②サイド2 ③サイド3
④サイド4 ⑤暗礁宙域 ⑥サイド6
⑦サイド7 ⑧ルナツー (A)地球 (B)月
(C)コンペイ島 (旧ソロン) (D)月の公転軌道 (E)天頂



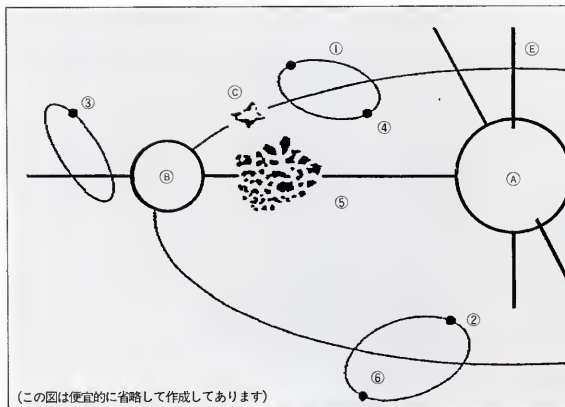
COLONY RECLAIM PLAN

コロニー再生計画

期のルウム戦役時、サイド5宙域において、大規模な艦隊戦を展開し多量の核兵器を使用した。そのためサイド5は施設そのものも壊滅的な打撃を受けた。それ以前に、サイド1、2、4は公国の電撃的な侵攻によって無差別殺戮の標的とされ、生物、化学兵器が投入された。しかし、コロニーなどに関しては、後に自分たちが使用することを考え、人民の排除だけが実行された。

ところが実際には、一度BC兵器で汚染されたコロニーの再生は予想以上に困難を伴うものであった。シリンドー内部の空調から大気の流れ、それら気体自体の質量調整など、シリンドーの内容物はいそれと交換できるものではなく、大気の組成などを含めコンピュータによって管理さ

れており、それらのデータは自転速度や外壁の構造はもとより、コロニーシリンドーそのものをシステムティックに統合している。すなわち、スペース・コロニー計画では、一度住民が居住したことのあるコロニーを再び入植以前の状態に戻すということは想定されていなかったのだ。コロニーひとつでもそのデータ処理には膨大な作業を必要とする。ことに公国は戦争遂行中でもあり、それらコロニーの再生作業を行うことは不可能だった。公国首脳部の構想ではそれらの作業は地球圏の覇権を握ったあとのことだった。本来は産児制限を含む独裁を自論んでいたのだから当然とも言える。しかし一年戦争終結後、それらのコロニーは放棄されてしまっていた。



(この図は便宜的に省略して作成してあります)

COLONY RECLAIM PLAN

コロニー再生計画

コロニーの再生

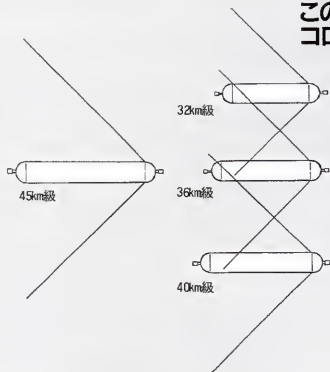
一年戦争の混乱も收拾しつつあった0082年に、第一次のコロニー再生計画が実行された。住民がいなくなったコロニーを、ジオン共和国となったサイド3へ移送するのである。基本的には、通常制御が可能なシリンドラーを減加速することで軌道変更を施し、別のラグランジェ・ポイントに、移動するのである。といっても、シリンドラーの質量は膨大であり、移送しないコロニーとの重力干渉や、もとより重力均衡のない宙域を通過することもあって、ほとんどの場合二基が一组として移送される。互いの距離や移動速度は厳密に制御され、回転力による偏向やスクイズドが起きないように慎重な作業が

実施される。これらの慣性変更に要するエネルギーもまた膨大であり、とても個人やゲリラレベルで実行することはできない。一年戦争以後、地球圏の大質量物はほとんどが連邦やコロニー公社の管轄に置かれ、戦艦やMSの残骸など、ジャンク、廃物でしかない浮遊物でさえも、入手した瞬間に責任と賞罰が発生する制度が出来上がっていた。

0083年にはサイド1からサイド3にむけ修復可能なコロニーの移送が開始された。一連の作業は、難民対策や補償問題の代替案として実施されている側面もあり、難民収容施設の管理と運営をジオン共和国に押しつけているという批判も根拠のないものではない。ただし、一連のコロニー再生計画は、ある程度の実

この時期の平均的なコロニーの対比

●スペース・コロニーは、その多くが直径6.4kmで建造され、規模に応じて長さか調整されている。サイド1からサイド3移送中、シーマ艦隊によってジャックされたコロニーは40km級のもの。

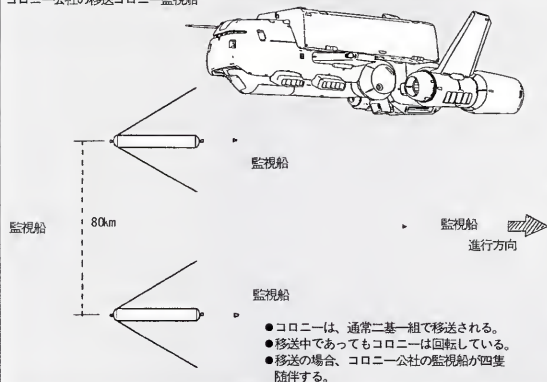


コロニー再生計画

効性があったことも確かではある。しかし、全体的な計画はいかにも急場しのぎのもので、長期的な展望に欠けていたという指摘が多くあったことも事実である。つまり、コロニー移送中の安全補償問題や災害発生時の責任所在が、つまびらかではなかったのだ。0084年に連邦政府が地球圏の現状維持を決定したのも、一年戦争で総人口が半数に減少したことを根拠にしたものだ、というのはあくまで表面の理由であって、コロニー移送が、新規建設とはまた異なった障害を伴うことがデラーズ・フリートのコロニージャックによって明らかになったからだということもできる。実際、一年戦争時のプリティッシュ作戦は、連邦の警戒をすり抜けてコロニーの軌道を

変更させるもので、一大軍事行動を伴わなければならない規模の非常に困難な作戦だったのだ。これは、地球の周辺に存在するラグランジェ・ポイントがいかに安定しているかの証左ともいえるだろう。このコロニー移送計画は、前述したように、例えば旧世紀中のブルトニウム輸送のようには、相当、穴だらけの計画だったと酷評されてもいる。危機管理に対する鈍感さは、この後も連邦の体質として継続していくことになるが、デラーズ紛争直後においてはこの点が反省され、テイターンズの台頭に代表される管理統制の強化という風潮が主流となる要因になっている。さらに、その後もコロニーなどに対する管理統制の方針だけは変わることにはなかった。

コロニー公社の移送コロニー監視船



COLONY RECLAIM PLAN

ガンダム・オフィシャル・レポート, 3

ガンダム 開発計画

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

U.C.0081~0083

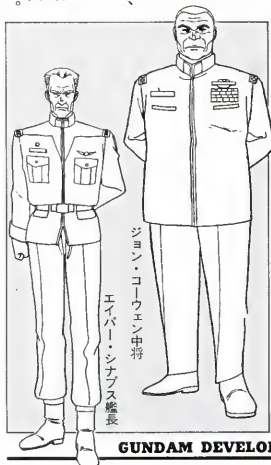
ガンダム開発計画

ガンダム開発計画は、連邦軍再建計画の一環として、連邦軍のジョン・コーウェン中将の管理の下で行われた。目的は、一年戦争時に優秀な戦績を残したRX-78ガンダムのような高性能の次期主力MSを試作することだった。

アナハイム・エレクトロニクス(AE)社が作り出したいわゆるGPシリーズのMSはそれぞれ「最強のMS」を目標とした機体である。試作1号機RX-78GP01/Fbガンダム・ゼフィランサスは、純粋なMS単体の機動力、運動性能を追及した機体で、試作2号機RX-78GP02Aガンダム・サイサリスは最強の機動兵器に最強の戦略兵器を組み込んだ機体であった。

そして試作3号機RX-78GP03ガンダム・デンドロビウムはMSとMAの能力を合わせもつ機体として作られた。これらの機体は開発そのものが極秘であり、デラース紛争との関係で公式記録からは抹消されている。この紛争によるコロニーの落下は、あくまでも事故として処理する必要があったからだ。また、コ

ンペイ島で核弾頭が使用されたことも情報としては完璧に隠蔽されている。さらに、AEの事情としても、一部の役員がデラースフリートとの裏取引で、ガンダム4号機ともいえるAGX-04(アナハイム・ガンダム試作4号機の意)ガーベラ・テトラを譲渡していた事情があり、GPシリーズを公にはできなかった。



ジョン・コーウェン中将

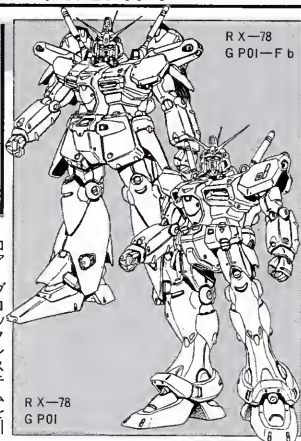
エイバー・シナブス艦長

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

ガンダム開発計画

ガンダム試作1号機

R X-78
G P01-F b



GP01は、汎用人型兵器としての思想をさらに追及し、より人間に近い運動、稼働が可能ないように設計されている（この設計思想は後にムーバブル・フレームへと昇華される）。パイロット及び戦闘データの生還率を確保するため、

コア・ブロックシステムを引き続き採用しているが、RX-78とは異なる方式を試験的に採用している。この機体は本来、主機のコア・ファイターの換装だけで宇宙空間での稼働も可能ないように設計されているが、作戦行動中に被った損傷のため、宇宙用機として換装されることになった。

GP01フルバーニアンは、宇宙用とはいいいながら、あらゆる面で以前の機能を凌駕しているため、全く別な機体であるといっても過言ではないだろう。主機であるコア・ファイターそのものを、プロペラントタンクと一体化したブーストポッドを装備した宇宙用機に換装し、ドッキング時のカバーが取り除かれ、MS形態時でも機体後部を可動できるようになり、機体各所に配置されたアポジモーターと併用することで、方向転換や姿勢制御用としても用いられることになった。そのため、機体全体の運動性、機動性ともに格段の性能向上が達成された。また、ビームサーベルユニットは、ジェネレータ出力の向上もあって、MS形態でもビームガンとして使用で

きるようになっていた。また、機体構造体の軽量化と共にプロペラントタンクの増設などをほどこし、作戦行動時間の延長と出力の増大が達成されているのに加え、スラスターが増設され総推力の飛躍的な向上に貢献している。



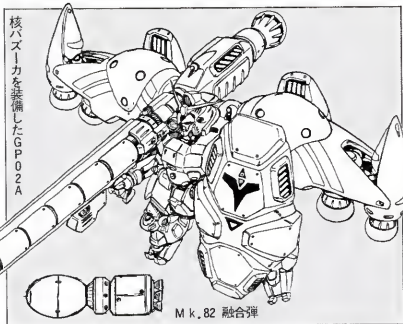
GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

ガンダム開発計画

ガンダム試作2号機

この機体には、宇宙世紀においても、兵器として最強のものである核兵器が搭載され

ている。核兵器の「使用」は、人類全体に対する重大な背任行為であると考えられていたが、MSが兵器として画期的な効果をあげたことでそれまでの兵器体系が覆されてしまったため、連邦軍内部で、戦後の優位性を維持するため、核戦略を想定した機体を作られたのだ。

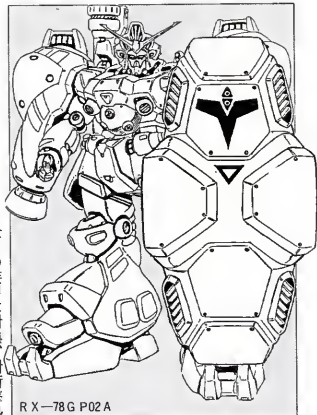


Mk.82 融合弾

実際、一年戦争末期には、公国の一高官が独断で核兵器を投入した記録も残っ

ていた。

この機体に装備されている弾頭は書類上は戦術核として申請、登録されているが、試算によると戦略核以上の威力を持ち、連邦軍宇宙艦隊の三四割を壊滅できるといふ。ただし、弾頭の到達半径が短く、核を使用した場合、自機も爆心付近にいることになるため、



RX-78GP02A

全ての装甲は耐熱、耐衝撃処理され、専用シールドには冷却装置が装備されている。

核バズーカ使用時は、シールドから銃身を取りだし、基部に装着する。背部に弾頭の貯蔵装置があるため肩に装備されたアクティブスラストユニットは、重力下でのホバ走行も可能である。

GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

ガンダム開発計画

ガンダム試作3号機

ガンダム試作3号機は、Mユニットのデンドロビウム・ステイメンとアームドベース・オーキスによって構成される巨大な機動兵器である。一年戦争当時、公国製モビルアーマーの脅威を目の当たりにした連邦軍は、それに対抗し得る兵器開発の必要性を

痛感していた。この機体は、出撃後でも武器の換装が可能で、遠距離戦闘から近距離戦闘まで多様な戦況に対応することができ、その意味で巨大な武器庫を携えたMSと言うこともできる。ただし、アームドベース・オーキスそのものが、膨大なプロペラントによる機動力と長大なビーム砲、巨大なクローアームなどを装

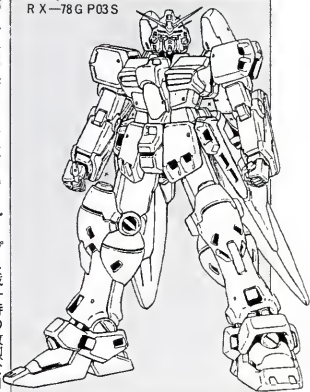


備し、公国製MAに拮抗し得る戦闘能力を持つているため、単なる機動武器庫と侮ることはできない。無論、ステイメン単体の性能も非常に優れている。オーキスとのドッキングを考えて設置されたテールバインダーなどが、四肢との運動によるAMBAC効果を含み運動性能や機動力の向上をもたらしているのだ。後に、

グリプス戦争時の激烈なMS開発競争の渦中で、バインダーやスタビライザーの技術が多く採用されていることから、ステイメンの持つ先見性は破格のものであったということができる。

実質的にこれらの機体は、数年後以降に開発されるMS群に比肩し得る性能を持つていたと言っても過言ではない。

RX-78GP03S



GUNDAM DEVELOPMENT PROJECT

MSS

【MS用語辞典③】

ニンジン／ロカイザー

ニンジン【CARROT】

コウが食べることでできないもの。ニナに自分が大人であることを示すために必死で食べようとするが、これが食べられたからといって大人である証になるわけではもちろんない。

バッタ【GRASSHOPPER】

シーマがGPO—Fbにつけたあだ名。バッタのように跳ね回るようすを見てつけたと思われる。

バルフィッシュ【WALFISCH】

ガトー少佐のコードネーム。

通信時は、敵からの傍受を恐

れてこのコードネームで呼び出す。

ピケット【PICKET】

正式名称は、ピケットライン。防衛ポイントに対して配置される防衛線のこと。

ピンクのゲルググ【PINK GERUGOOG】

連邦軍に接收された機体で、評価試験などに使われている。試験機であることを示すために、派手な色で塗装されている。

プレバーナー・バルブ【PRE VALVE】

一次噴射制御弁のこと。推

進装置系の部品。整備員の間では「プレ・バルブ」と略して呼ばれる。

Mk-82【MARK 82】

GPO2Aに装備されている核弾頭。戦術核として登録されているが、実際には戦略核をも凌駕する威力を持つ。

ミノフスキー干渉波【MinovskY INTERFERENCE WAVE】

ミノフスキー粒子の散布領域内に物体が存在すると、それが粒子の拡散に干渉して、濃度変化を生じさせる。これが、ミノフスキー干渉波である。これを電波攪乱の度合いで検出分析すると、その物体のおよその位置、大きさが判明する。まだ発展途上の探知システムで、敵の形状・種別の特定が曖昧であり、ダミーの判別もつきにくい難点がある。

ラインバック1【LINEBACK 1】

移送中のコロニー近辺での任務中に連絡を断つた哨戒艇の確認に出動したMS部隊のコードネーム。コロニージャックしたシーマ艦隊に撃破される。

冷却ライナー【COOLING LINE R】

ノズルの内壁材。噴射によってノズルが過剰過熱するのを防ぐ。

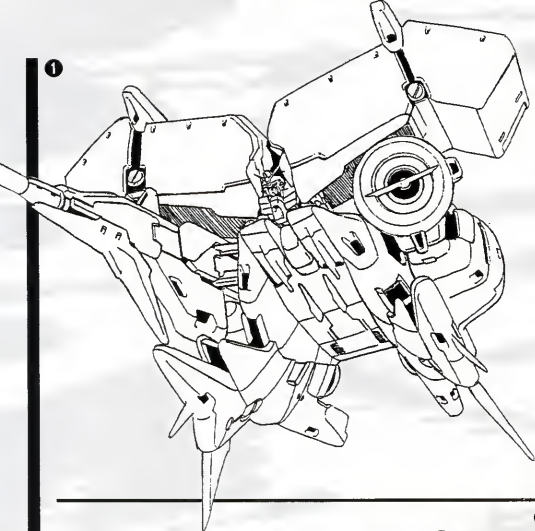
レッドアウト【RED OUT】

強烈な重力によって眼球中の血液が逆流し視界が赤く染まること。バニングは、最近この症状に苦しめられていた。

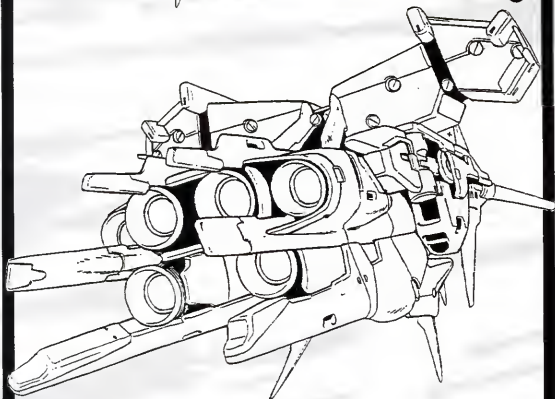
ロカイザー【LOCALIZER】

ある着艦コース（アルピオンの場合）に対して、水平位置の情報指示を与えるビーコン。

1



2



ガンダム試作3号機

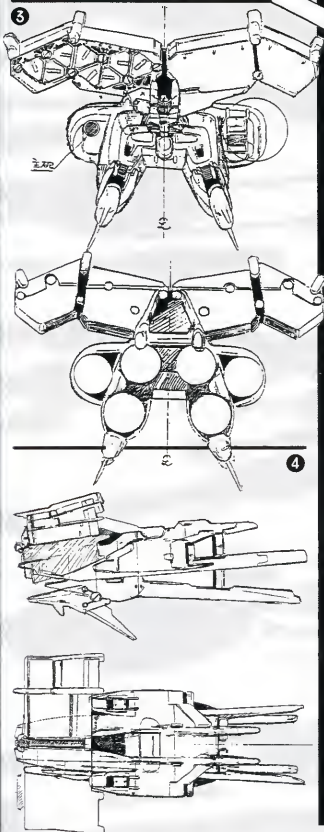
RX-78GP03

汎用性の高いMSの利点と、攻撃力の高いMAの利点を兼ね備えた機動兵器というコンセプトのもとに宇宙空間における拠点防衛用としてアナハイム社で開発されたガンダム試作3号機。ガンダム・タイプのMS部（ステイメン）と、重武装とMSの携帯武器を収納したコンテナ部を備えたアームドベース（オーキス）によって構成されている。

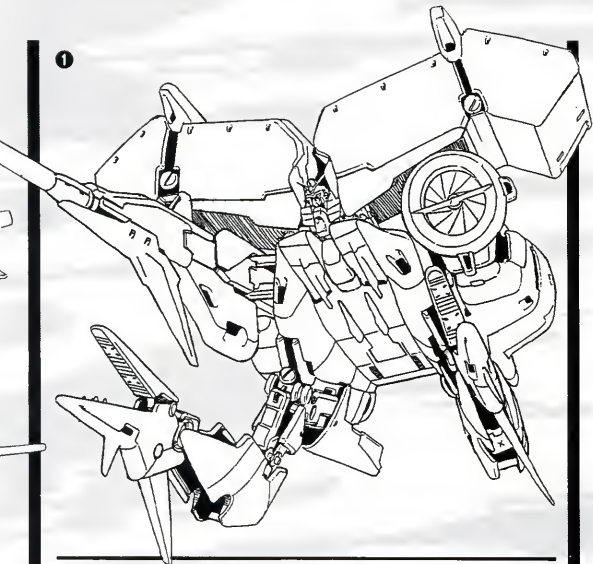
- ①フロント・ビュー
（1フィールド稼動時）
- ②リア・ビュー
- ③正面＆後面図
- ④側面＆上面図

RX-78GP03 SPEC

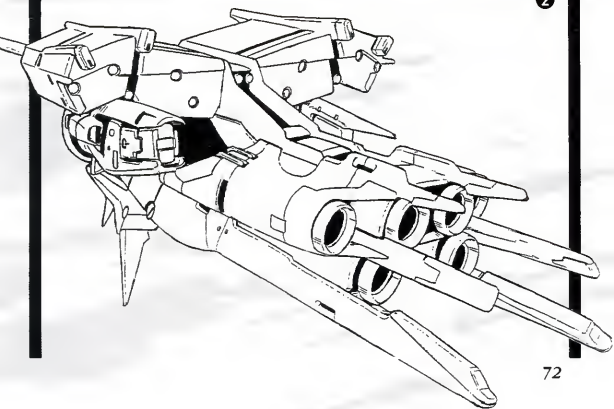
全長/140.0m(砲含まず/73.0m) 全高/38.5m 全幅/62.0m 自重/226.4t
総重量/453.1t ジェネレーター
出力/38900KW 主スラスター推力/37750kg×6、主武装/メガ・ビーム砲×1、大型ビームサーベル×2、1フィールド・ジェネレーター、ビームライフル、バズーカ、爆導索、ミサイルポッド、その他



1



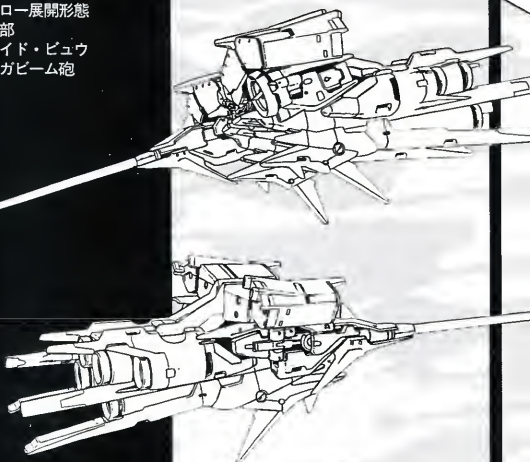
2



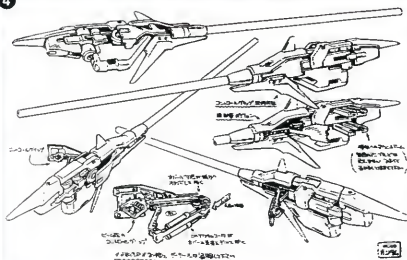
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①クロー展開形態
- ②背部
- ③サイド・ビュー
- ④メガビーム砲

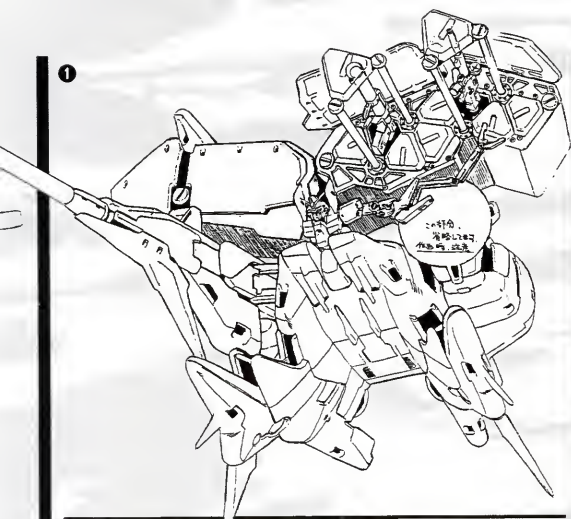
3



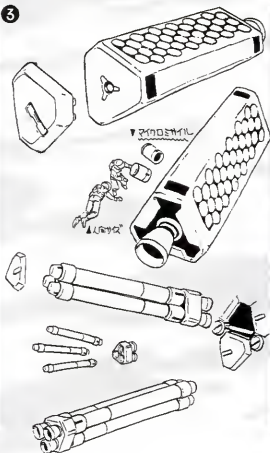
4



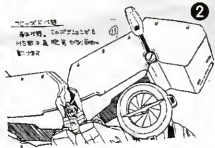
1



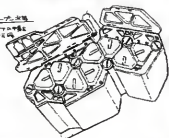
3



2

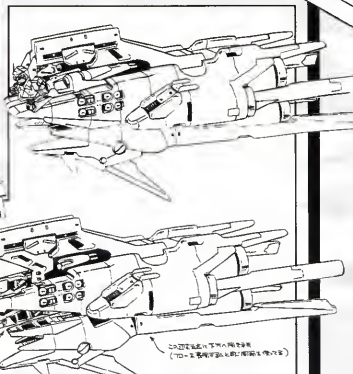


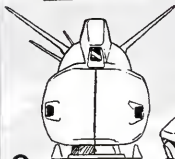
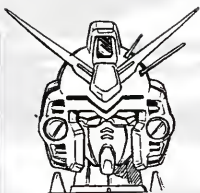
この部分、省略して描く
作例も、同様



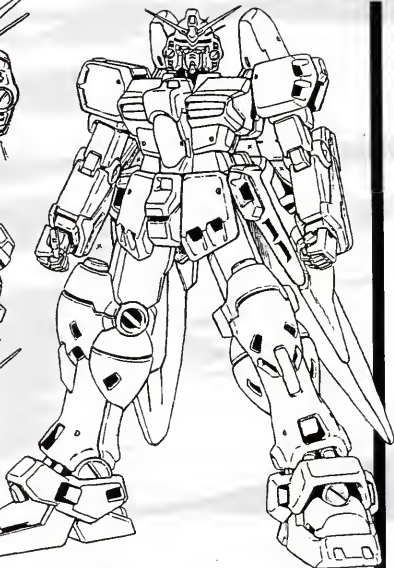
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①コンテナ開閉図
- ②ウェポンコンテナギミック
- ③ウェポン例
- ④合体構造
- ⑤ステイメン分離手順



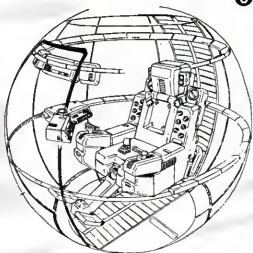
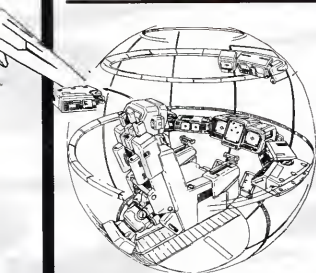


2



1

3



ガンダム試作3号機 ステイメン

RX-78GP03S

ガンダム試作3号機を構成するMSユニットをステイメンと呼ぶ。1、2号機と違い、あくまで宇宙戦闘を考えて開発され、テールバンダーによって高い機動性を獲得している。また、アームドベースのコンテナに格納された武器を引き出すためクロー状に変形する腕を備えている。

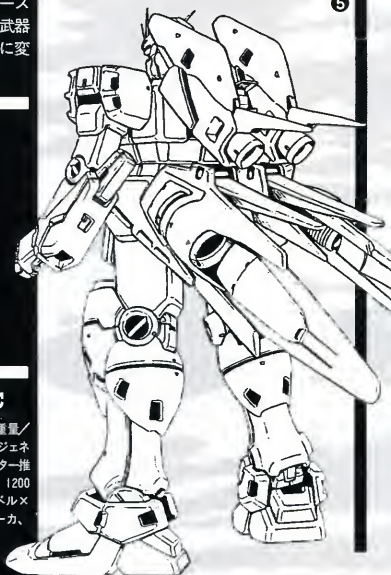
- ①フロント・ビュー
- ②頭部
- ③コクピット
- ④コクピットハッチ
- ⑤リア・ビュー

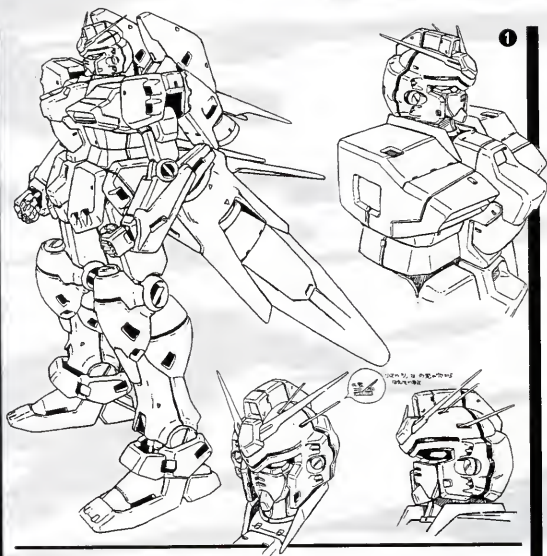
RX-78GP03S SPEC

全高/18.0m 自重/41.6t 総重量/70.0t 180度姿勢変換/0.8sec ジェネレーター出力/2000KW 主スラスター推力/42000kg×2、40000kg×2、12000kg×2 主武装/ビームサーベル×2、ビームライフル×2、バズーカ、その他

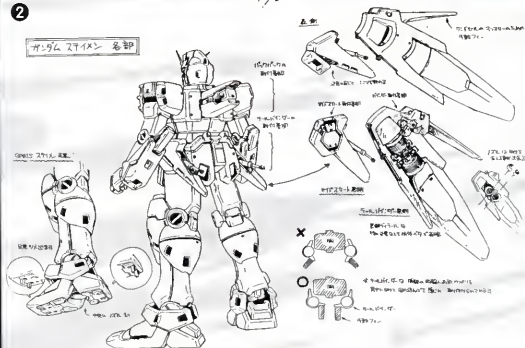


5



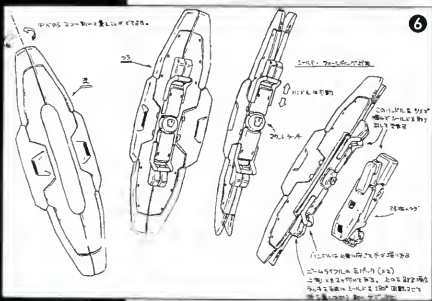
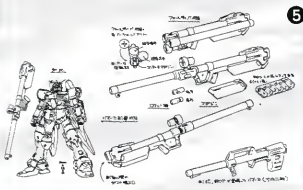
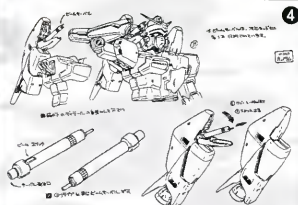
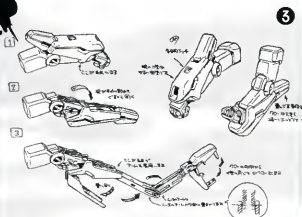


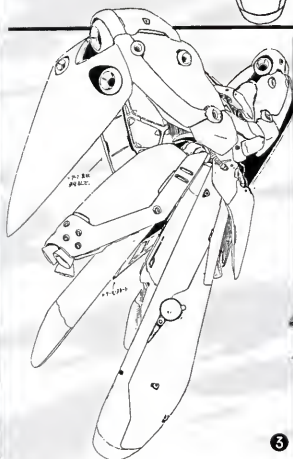
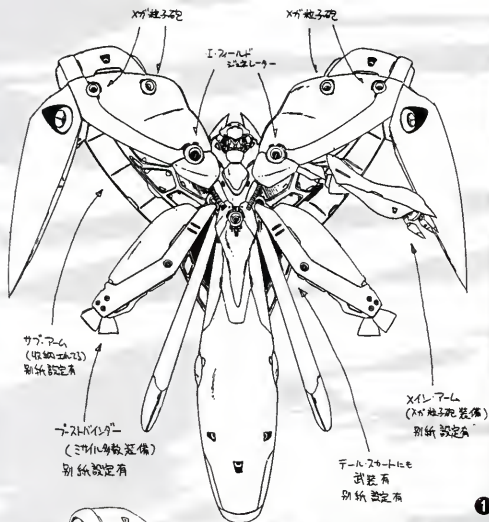
ガンダム スタイン 各部



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①細部ディテール
- ②腰部テールパイダー
- ③腕部クロー展開ギミック
- ④ビームサーベル
- ⑤フォールディング
・バズーカ
- ⑥フォールディング
・シールド





ノイエ・ジール

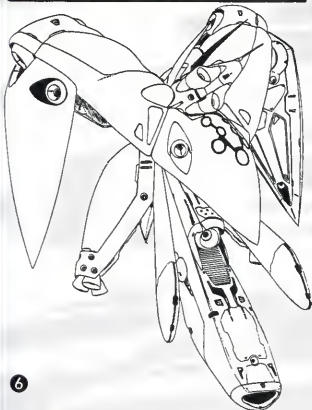
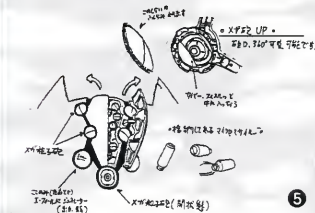
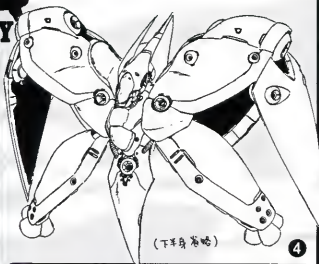
AMA-X2

地球圏を離脱し小惑星に隠れていたジオン残党の“アクションズ”が開発した試作MA。宇宙空間での戦闘を追求して開発されたため、脚部は取り除かれた。オールレンジ攻撃が可能だが、パイロットへの負担はかなり大きい。ジオン再興という同じ目的のもとデラース軍に譲渡された。

- ①フロント・ビュー
- ②頭部
- ③サイド・ビュー
- ④機体上部
- ⑤テールスカートの武装
- ⑥リア・ビュー

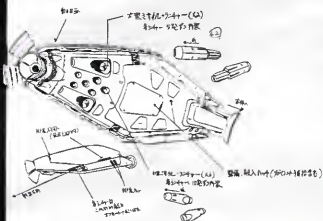
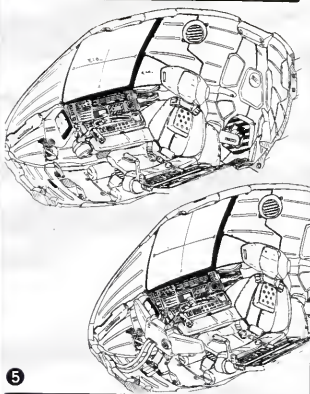
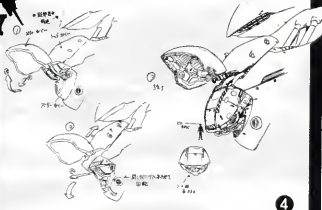
AMX-002(AMA-X2) SPEC

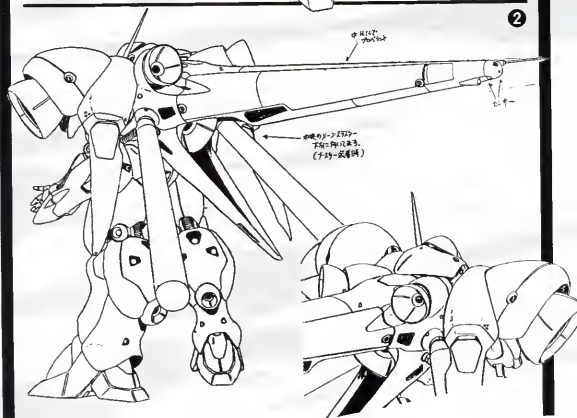
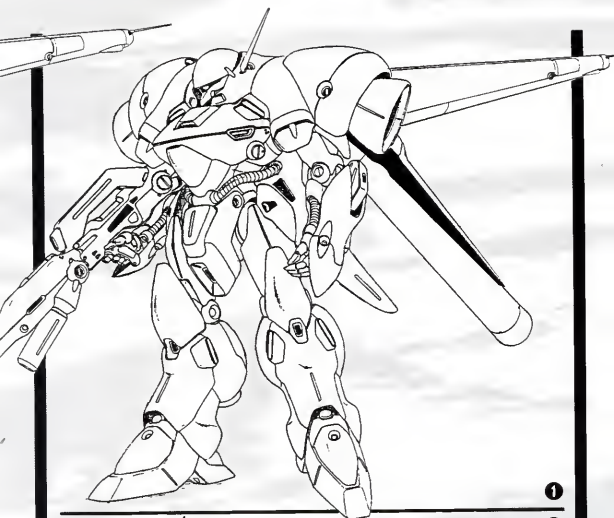
全高/76.6m 全幅/73.6m 自重/198.0t
 総重量/403.5t ジェネレータ出力/75700KW
 主スラスター推力/356000kg×1、125000kg×11、20400kg×1
 主武装/メガ・カノン砲、偏向メガ粒子砲×9、有線クロー・アーム×2、メガ粒子砲×6、大型ミサイルランチャー×24、1フィールド・ジェネレーター×4



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①サイド・ビュー
- ②腕部
- ③サブ・アーム
- ④コクピット・ハッチ
- ⑤コクピット
- ⑥ブーストバインダー





ガーベラ・テトラ

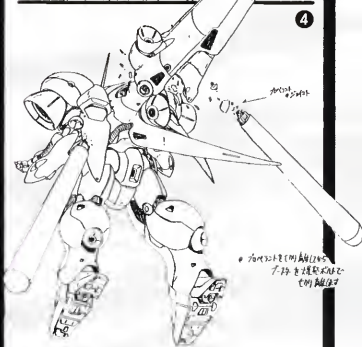
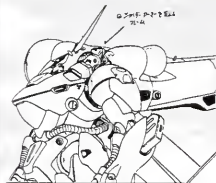
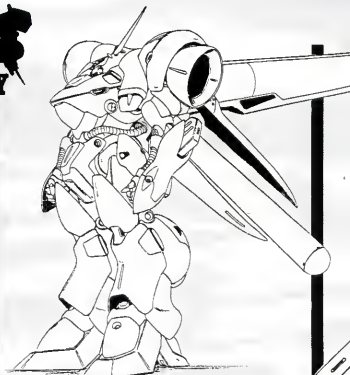
AGX-04

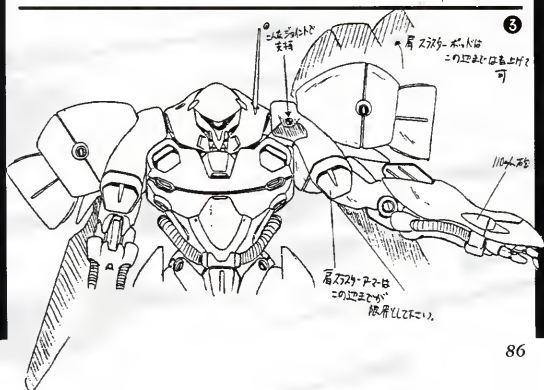
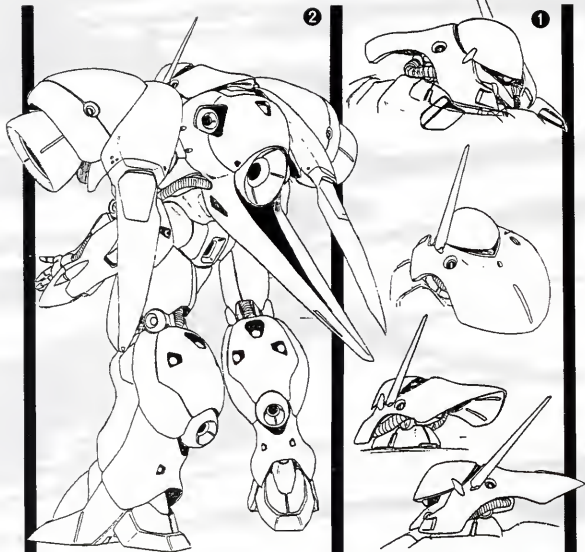
この機体はガンダム開発計画の候補案のひとつで、いわばガンダム試作4号機として開発が進められていたMSである。2号機同様そのスタッフには旧ジオニック社の技術者が多数かかわっていたらしく、ガンダムとは懸け離れた形状となっている。アナハイム社との密約によって、デラズ軍に譲渡された。

- ①フロント・ビュウ
- ②リア・ビュウ
- ③サイド・ビュウ
- ④ブースター・イジェクトパターン

AGX-04 SPEC

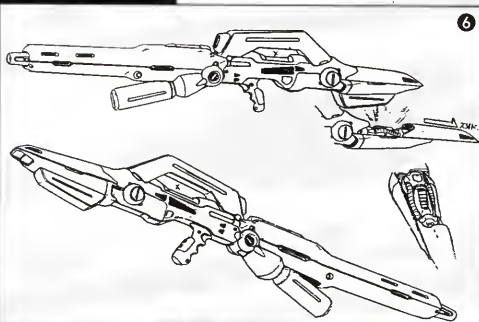
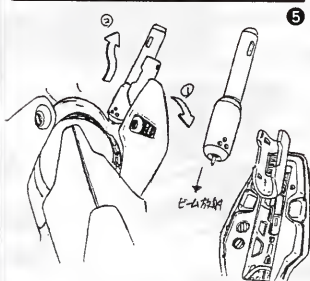
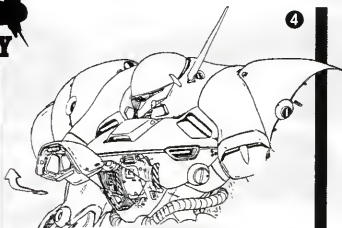
全高/18.0m 自重/46.7t (48.5t)
 総重量/73.2t (86.0t) 180度姿勢変換/0.9sec ジェネレーター出力/1710KW
 主スラスター推力/56000kg×2、50000kg×1、13500kg×4 (56000kg×2、50000kg×3、13500kg×4) 主武装/110mm機関砲×4、ビームサーベル×2、ビームマシンガン ※(内はシュトルム・ブースター装着時)

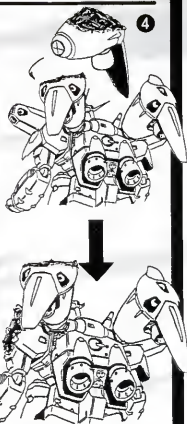
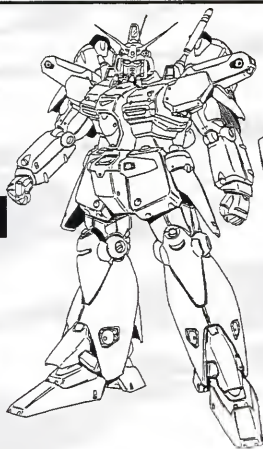
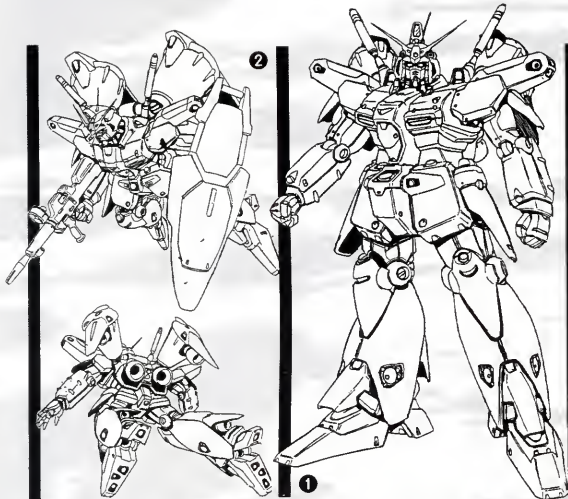




GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①頭部
- ②リア・ビュー
- ③スラスターポッド可動例
- ④コクピットハッチ
- ⑤ビームサーベルラック
- ⑥ビームマシンガン



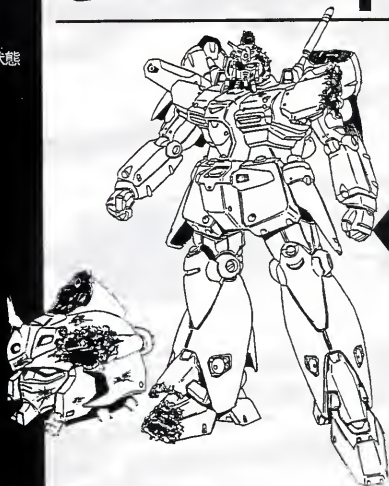
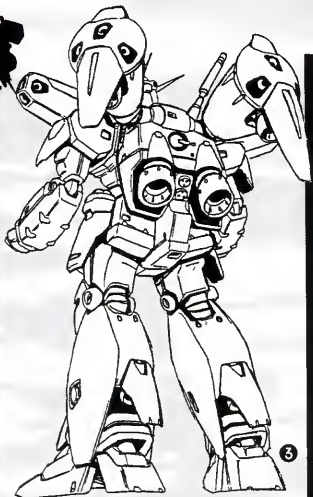


ガンダム試作1号機

RX-78GP01-Fb

月面のアナハイム工場で宇宙仕様となったガンダム試作1号機は、コンペイ島宙域で宿敵ガトーの駆るガンダム試作2号機とついでに対決する。核弾頭を発射した後のガンダム2号機との戦闘において、リミッターを切ったビームサーベルの前に、無残な姿に切り刻まれていく。

- ①フロント・ビュー
- ②アクション
- ③リア・ビュー
- ④バックパックの破損状態
- ⑤機体破損状態

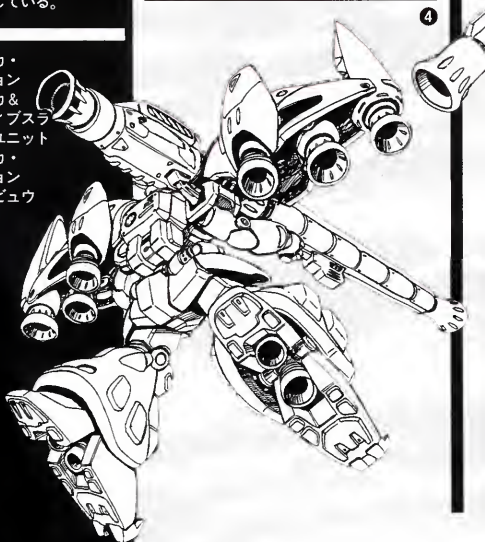
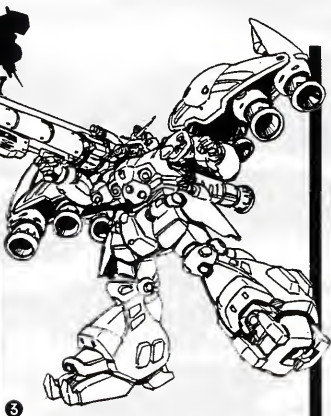


ガンダム試作2号機

RX-78GP02A

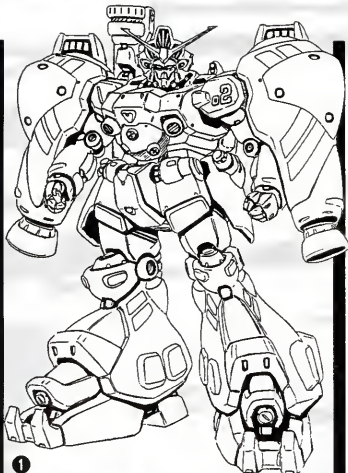
ガンダム試作2号機の最大の特徴は、核弾頭の発射可能なバズーカ砲である。基部はバックパックに接続されており、砲身は冷却装置内蔵のシールド裏部に装備されている。またバックパックに推進装置を装備できないため、両肩にアクティブスラスターユニットを装備している。

- ①バズーカ・アクション
- ②バズーカ&アクティブスラスターユニット
- ③バズーカ・アクション
- ④リア・ビュー

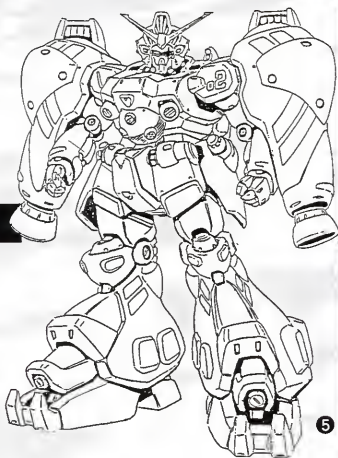




2



1



5



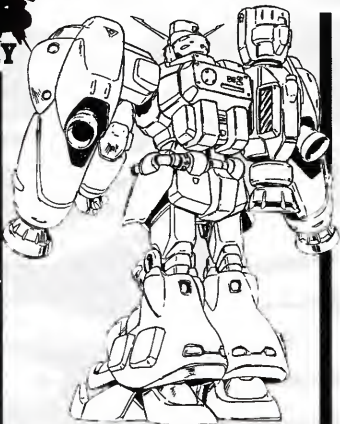
4



ガンダム試作2号機

RX-78GP02A

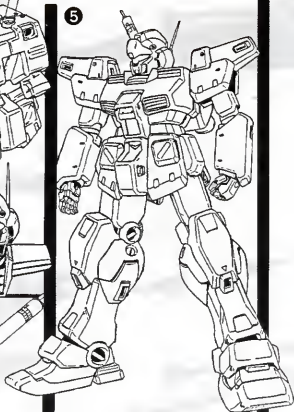
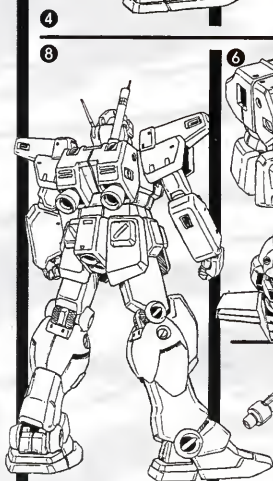
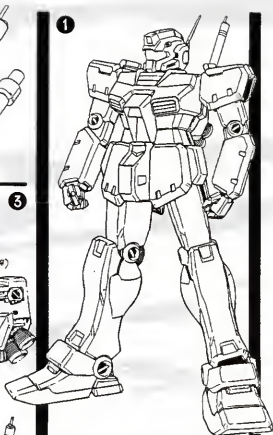
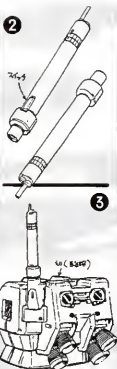
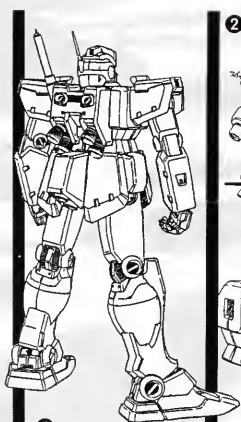
「星の屑作戦」の一環として地球連邦軍の観艦式に核弾頭を打ち込んだガンダム2号機は、帰還中にガンダム1号機と遭遇、戦闘に突入する。バズーカを使いきりバルカン砲とビームサーベルだけで1号機を迎え撃つ2号機。コウとガトーの因縁の戦いは激戦のすえ相打ちとなった。



③

- ①フロント・ビュウ
- ②頭部
- ③リア・ビュウ
- ④頭部破損状態
- ⑤機体破損状態





ジム・改

RGM-79C

1年戦争後に出現したジムのバリエーション機のひとつ。機体各部の改修によって、1年戦争当時の機体よりも数段パワーアップしている。

- ①フロント・ビュー
- ②ビームサーベル
- ③バックパック
- ④リア・ビュー

ジム・カスタム

RGM-79N

エース級のパイロットに優先的に配備されたジムのカスタム機。ジェネレーターやアポジモーターの強化を施され、各性能が向上している。

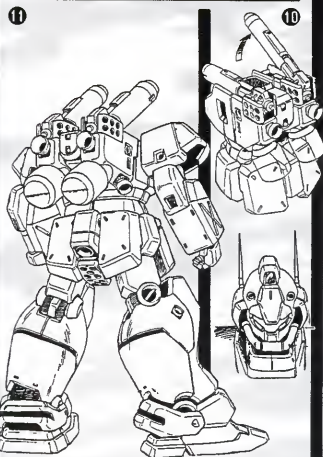
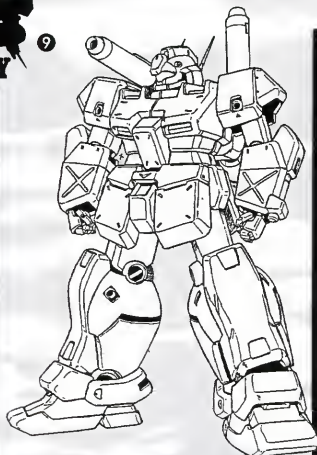
- ⑤フロント・ビュー
- ⑥バックパック & 頭部
- ⑦ビームサーベル
- ⑧リア・ビュー

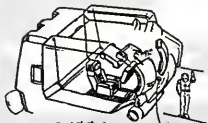
ジム・キャノンⅡ

RGC-83

RX-77Dの機体データをもとに完成された中距離支援型のMS。両肩のキャノン砲はビーム・タイプに変わっている。

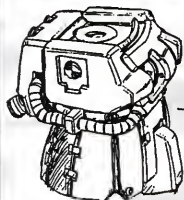
- ⑨フロント・ビュー
- ⑩キャノン & 頭部
- ⑪リア・ビュー





ハ・ナ・南内時
モーター・スライド機構

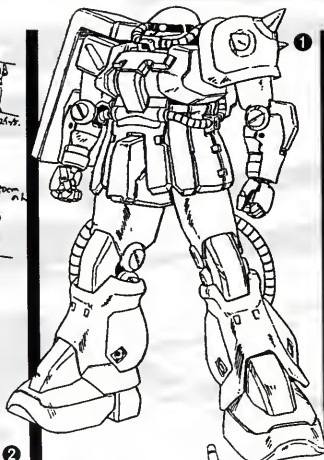
南内時



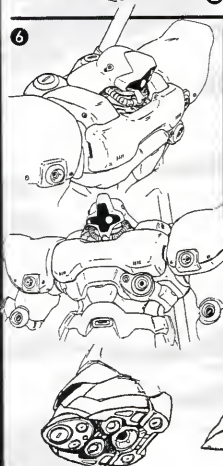
180cm



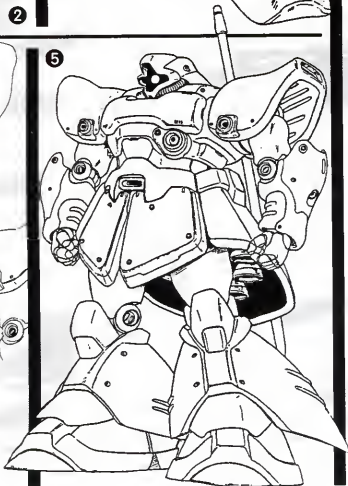
2



6



5

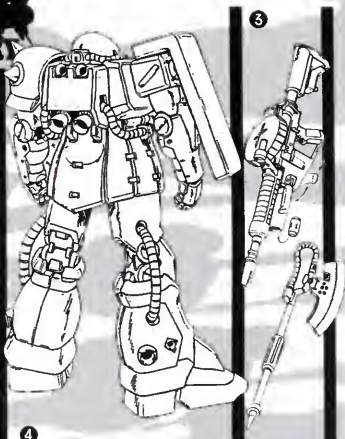


ザクⅡ

MS-06FⅡ

機体の軽量化とジェネレーター出力の向上を目的に、量産機であるMS-06FザクⅡを改修した機体。しかし、ほどなく終戦を迎え1年戦争終戦協定締結後、武装解除に合わせて多くの機体が連邦軍に接收され、そのまま使用されたケースが多い。

- ①フロント・ビュー
- ②胸部・脚部
- ③マシンガン&ヒートホーク
- ④リア・ビュー

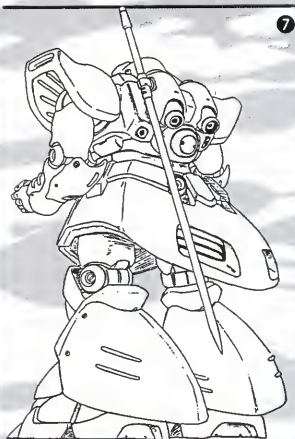


④

リック・ドムⅡ

MS-09RⅡ

1年戦争中期以降に開発されたMS-09Rリック・ドムは、ジオン軍の宇宙戦主力MSとして大量生産された機体で、それぞれの局地戦主力MSとして大量生産された機体で、それぞれの状況に応じた改良機も多く生産されてきた。このリック・ドムⅡもその1機で、プロペラントの増設やスラスターの追加によって性能がかなり向上している。



⑦

- ⑤フロント・ビュー
- ⑥胸部、脚裏
- ⑦リア・ビュー

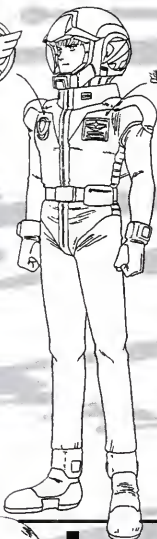


3



TS 部隊
ツッパン

連林皇
ツッパン



1

2



4



5



R-7 (パイ) 上巻



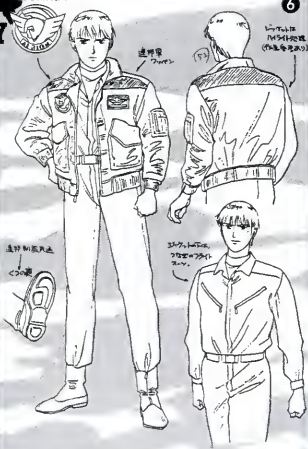
この機体は
パイロット... 上
- 機... 下
と 5002



コウ・ウラキ 地球連邦軍中尉

ガンダム1号機を駆る連邦軍の中尉コウ・ウラキも、戦いの中で次第に成長していった。オーストラリアのトリントン基地でのテストパイロット時代は、ただメカニックが好きな少年という感じだったが、ニナとの出会いやガトーに受けた屈辱によって少年から大人の顔へと変わっていく。

- ①ノーマルスーツ
- ②アナハイム
テストパイロットスーツ
- ③ヘルメット
- ④表情集
- ⑤後姿
- ⑥フライトジャケット



KOU-URAKI



2



4



1



3

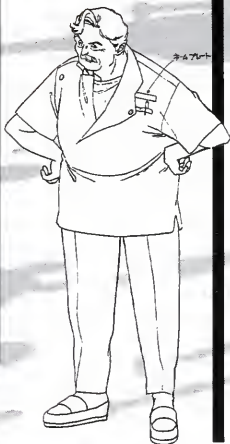
アルファ・A・バイト 地球連邦軍大尉

バニング大尉のもと、アルビオンMS部隊の中核をなしていたアルファ・A・バイトも、バニングの戦死によって大尉となる。MS部隊の指揮を任されるようになる。それまではモンシアとともに多少のわるふざけをみせていた彼も、バニングの意思を継いで立派に部隊をまとめている。

- ① ノーマルスーツ・前
- ② ヘルメット
- ③ アクション
- ④ ノーマルスーツ・後
- ⑤ 表情集
- ⑥ フライトジャケット



ALPHA・A・BAIT



ナカッハ・ナカト少佐 401警戒中隊

連邦軍の上層部に命じられ、ラビアンローズでアルビオンを待ち構えていた連邦軍少佐。GP03の受け渡しを拒み、乗込もうとしていたコウに銃を向け、かばったルセットを射殺してしまう。地球の危機よりも書類上の命令を優先するという融通の効かない無能な軍人。

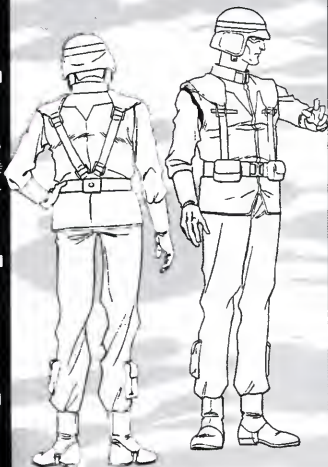
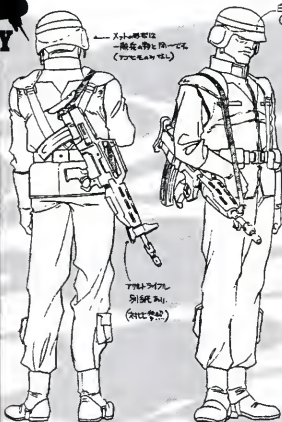
- ①前姿
- ②表情集
- ③後姿
- ④ナカト少佐の部下

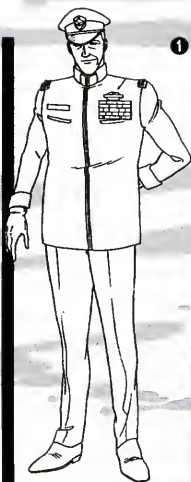
アルビオンの医務官

アルビオンに乗船している医務官。患者の対象である乗組員と、親密になって治療を行なおうとする。艦長のボトルは彼が管理している。

- ⑤前姿
- ⑥前、後姿
- ⑦表情集

NAKOHHA NAKATO





1

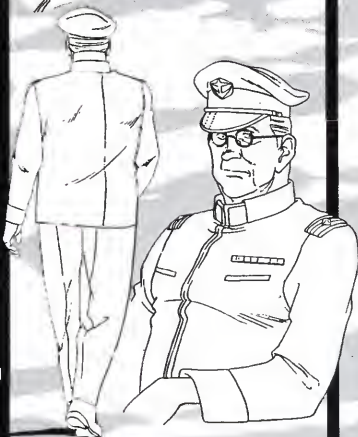
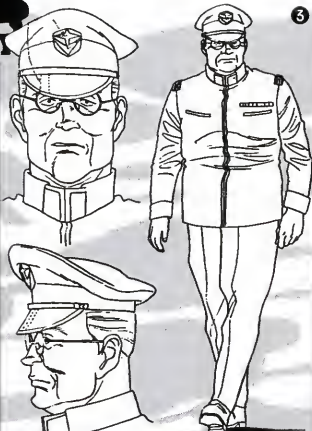


2

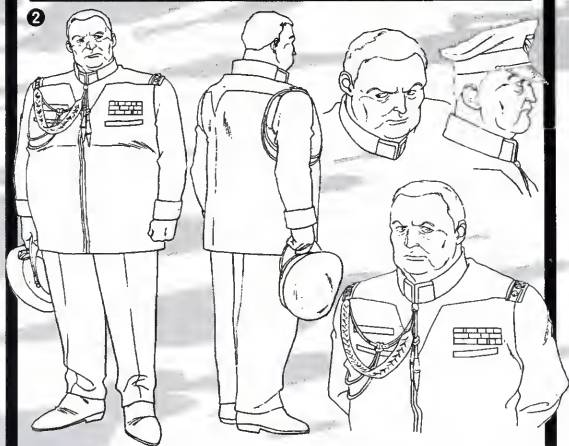
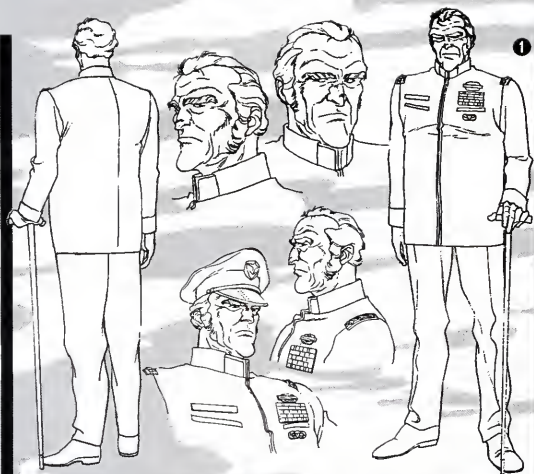
地球連邦軍の軍人

あいも変わらず頭の硬い連邦軍の軍人たち。観閲官のワイアット大將はデラーズ・フリートを完全に見下し、ガンダム2号機の核弾頭の前に散り、旗艦バーミンガムの艦長も同じ運命をたどる。コンペイトウ基地司令は核弾頭の被害は免れたものの、アルビオンを軽視している。

- ①グリーン・ワイアット大將
- ②バーミンガムの艦長
- ③コンペイトウ基地司令
ステファン・ヘボン少將



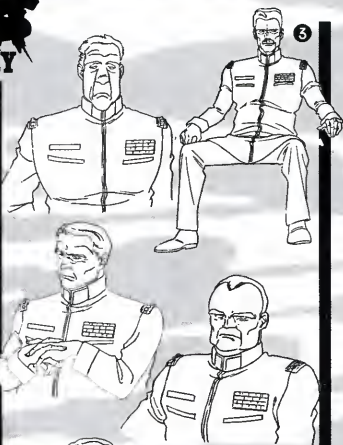
GREEN WYATT
STEPHANE HEPBURN



連邦軍の軍人、高官

地球連邦軍の高官たちは、デラーズ・フリートのコロニー落としについて形式上の対策会議しか開こうとしない。また、ジオンの残党の一部であるアクシズの存在を簡単に認めてしまう。さらに、軍最高位の提督は敵の内通者と組んで策謀をめぐらせる。

- ①地球連邦軍・提督
- ②宇宙艦隊・参謀
- ③連邦軍の将軍たち
- ④連邦政府高官





カリウス軍曹

かつてガトーが「ソロモンの悪夢」と恐れられていた頃からその部下として仕えていた軍曹。「星の屑作戦」参加のためにやってきた。

- ①前姿
- ②表情集
- ③後姿

グワデン艦長

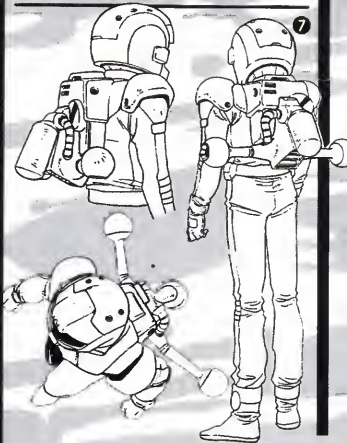
エギーユ・デラーズの乗るデラーズ・フリートの旗艦、グワジン級戦艦、グワデンの艦長。

- ④表情集
- ⑤コスチューム
- ⑥前、後姿

ユーリー・ハスラー少将 グワンザン艦長

デラーズ・フリートと同じくかつてのジオンの残党、アクシズの先遣艦隊の旗艦、グワンザンの艦長。デラーズと顔見知りらしい。

- ⑦ジオン・ノーマルスーツ用ランドムーバー

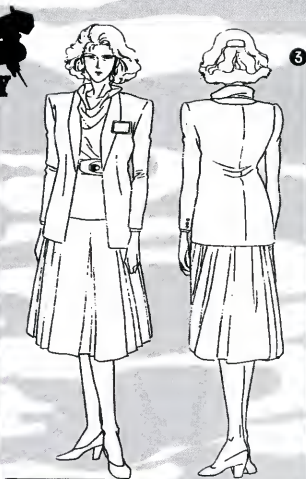




クレナ・ハクセル ラビアン・ローズ所長

アナハイム社所有の巨大ドック艦、ラビアンローズの女所長。アルビオンのクルーに対しては友好的な態度を取っているが、連邦軍の士官、ナカト少佐の言動には逆らえない。

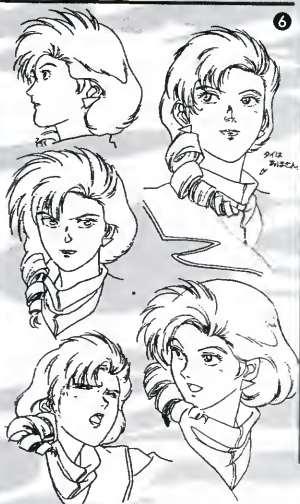
- ① コスチューム
- ② 表情集
- ③ 前&後姿



ルセット・オデビー アナハイム社システムエンジニア

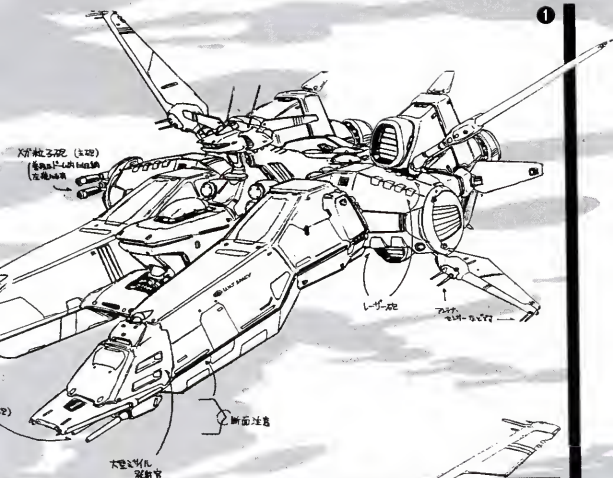
ラビアンローズでガンダム試作3号機の開発を担当していたアナハイム社のシステムエンジニア。ニナ・パープルトンの古き友人で、彼女の過去の秘密を知っている女性。コウにガンダム試作3号機を託す。

- ④ 前&後姿
- ⑤ コスチューム
- ⑥ 表情集

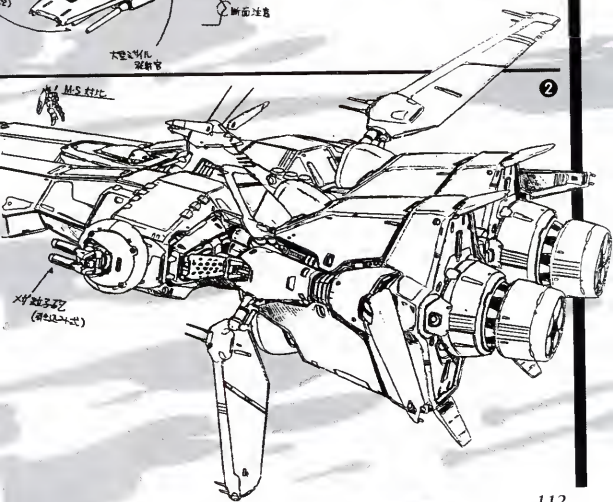


CLEHNA・HACSWELL
LUCETTE・AUDEVÉE

①



②

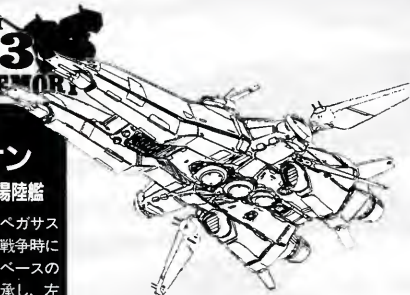


アルビオン

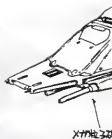
地球連邦軍強襲揚陸艦

地球連邦軍所属のペガサス級強襲揚陸艦。1年戦争時に活躍したホワイトベースのフォルムを見事に継承し、左右に展開式のMSカタバルト、およびコアファイターのフライト・デッキを持つ。また、艦の両サイドには強力なメガ粒子砲を備えている。

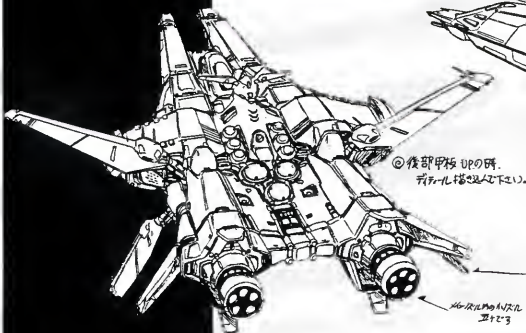
- ①上面、下面バース
- ②下面、リアバース



《着陸時、強襲甲板は
2段と展開可能》



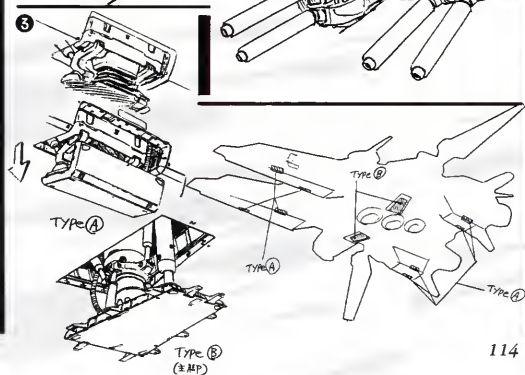
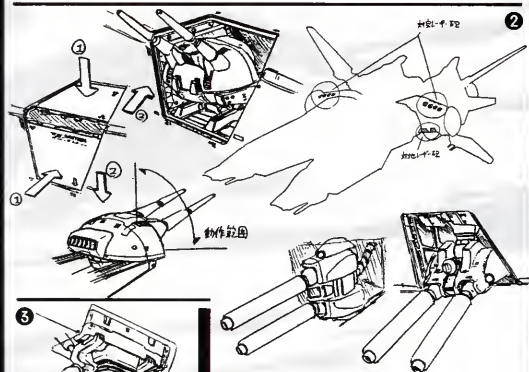
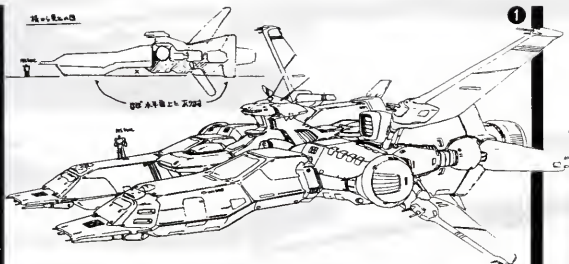
×111機30



◎後部甲板UPの時、
デテールが描き込まれてい。

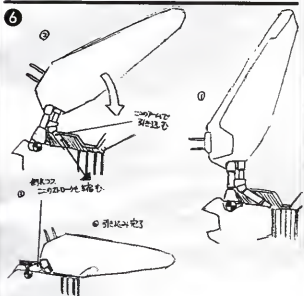
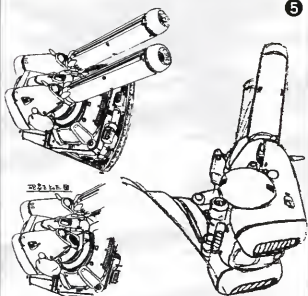
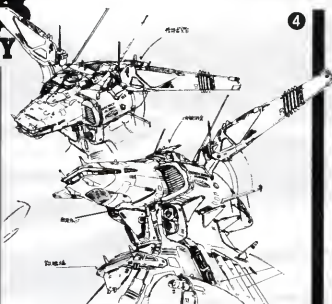
右下方の
放射

メガ粒子砲の
口と23

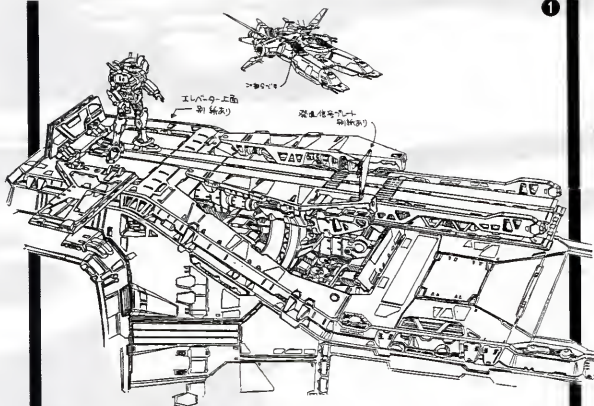


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

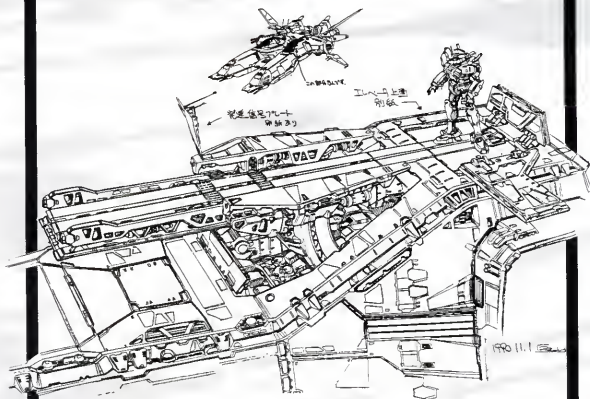
- ① サイド・ビュー
- ② レーザー砲
- ③ 降着脚
- ④ ブリッジ
- ⑤ メガ粒子砲
- ⑥ 放熱翼



①



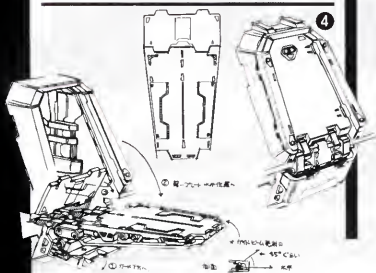
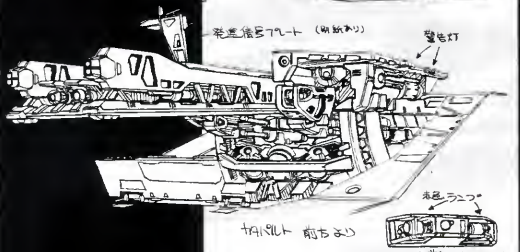
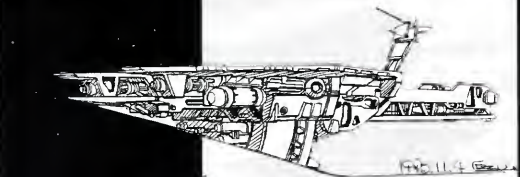
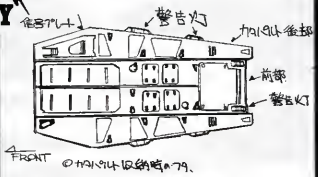
②



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

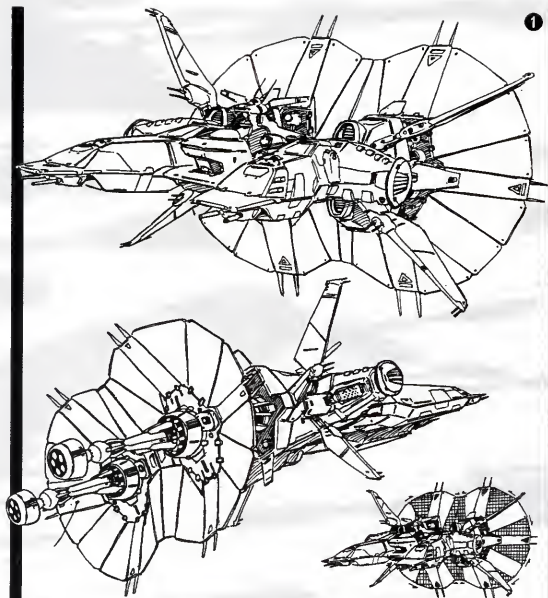
3

- ①右舷MSカタパルト
- ②左舷MSカタパルト
- ③カタパルト・前後パース
- ④MS着艦ハッチ

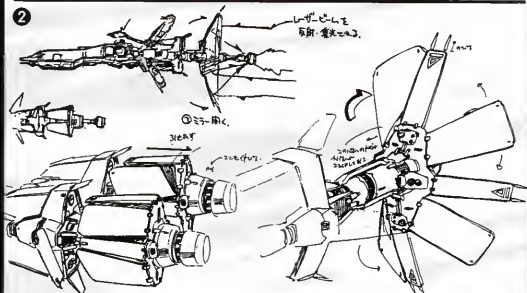


アルビオン

1



2



-

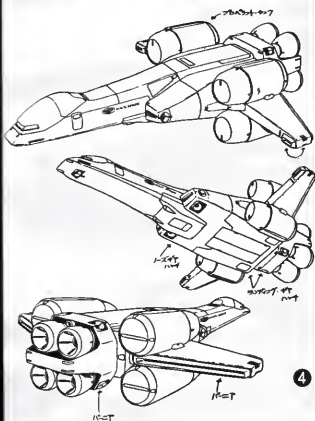
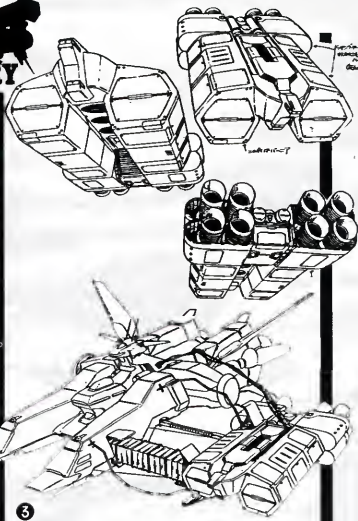


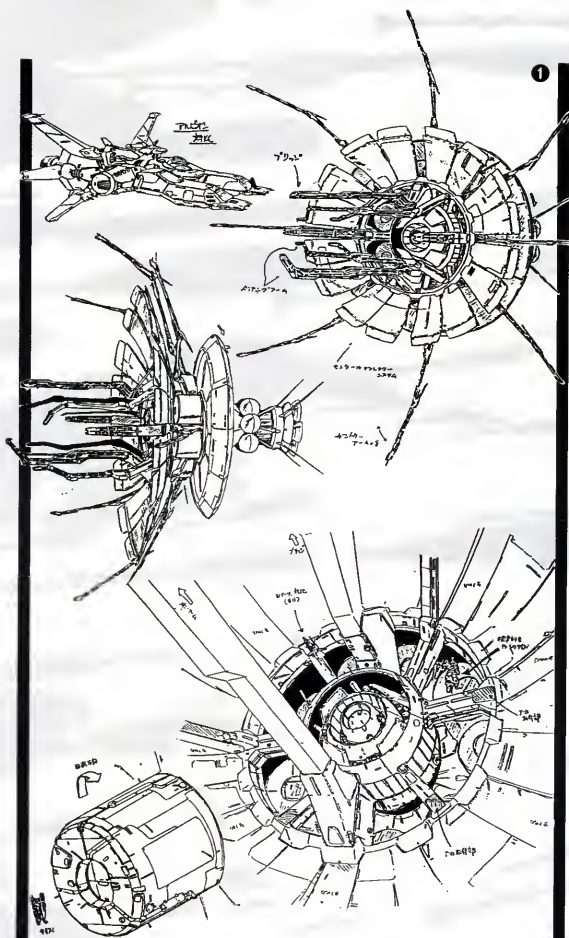
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

地球連邦軍の艦船

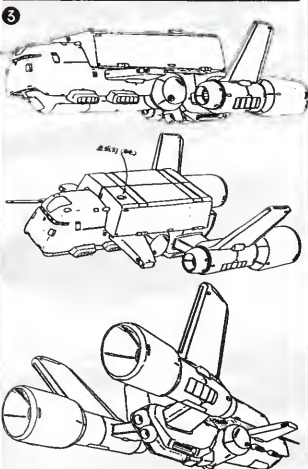
コンペイ島（かつてのソロモン）において行なわれた、艦観式に参加した地球連邦宇宙艦隊の旗艦バーミンガム。同じく艦観式のためにコンペイ島におもむいたベガサス級軍艦。アルビオンの補給をおこなった輸送艦コロンプス改。ソロモン海付近を偵察していた哨戒機。

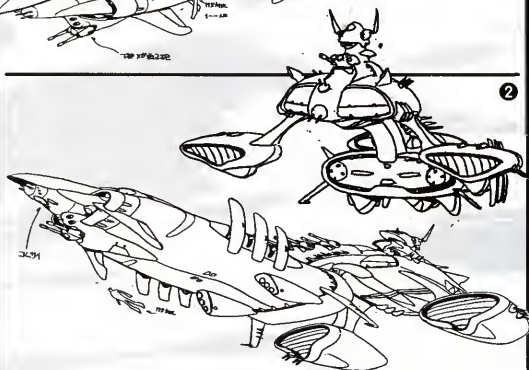
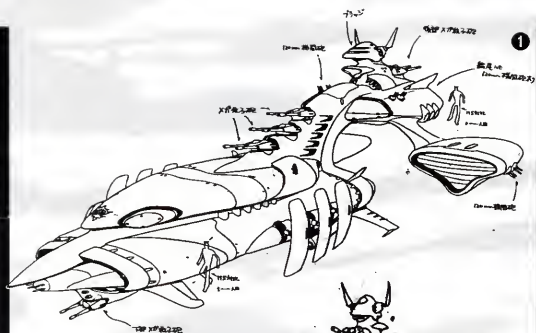
- ① 旗艦バーミンガム
- ② ベガサス級・軍艦
- ③ 輸送艦コロンプス改
- ④ 哨戒機





①全景
②メイン・ブリッジ
／ドッキング・アーム
③コロニー公社の監視船



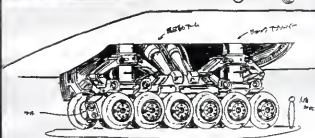
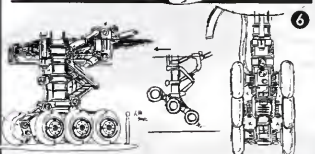
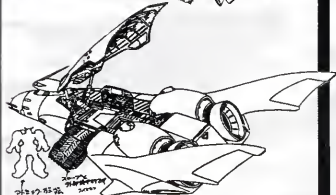
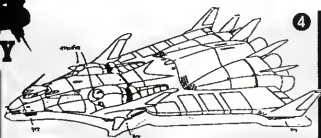


ムサイ(後期型)

デラズ・フリート巡洋艦

かつて、ジオン軍の艦隊の中核をなしていた巡洋艦の改良型。当然のごとくデラズ・フリート艦隊でも中心的な艦船となっている。搭載できるMSの数が増えているなど初期のタイプよりは性能が向上している。また、大気圏突入用の小型カプセル「コムサイ」も新しくなっている。

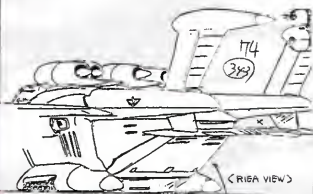
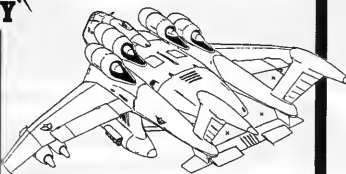
- ①全景
- ②下面、後方図
- ③後方バース
- ④コムサイ (ブースター付)
- ⑤コクピット&ガトリング砲
- ⑥コムサイ・ランディングギア



リリー・マルレーン

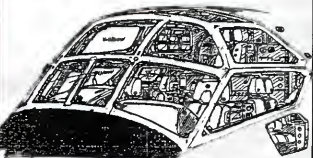
ザンジバル級機動巡洋艦

ムサイと同じく、かつてのジオン軍が使用していた機動巡洋艦。ムサイと違い、独自での大気圏突入能力を持っている。(脱出の場合はブースターを必要とする)。主砲はメガ粒子砲に改良され、シーマ・ガラハウ中佐の率いる艦隊の旗艦である。



サラミス級巡洋艦

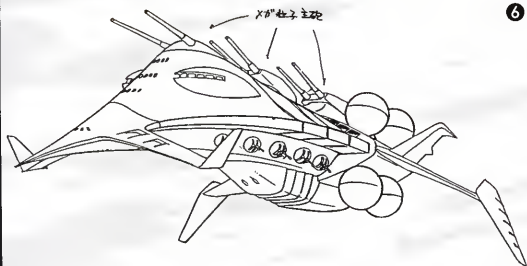
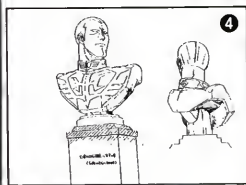
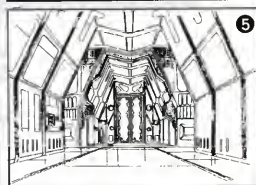
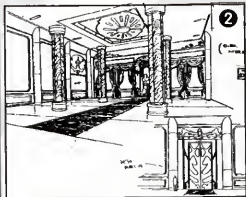
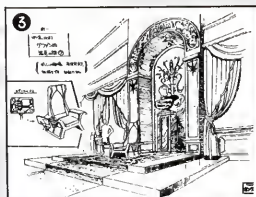
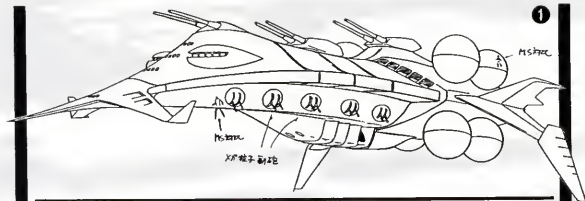
地球連邦軍の宇宙艦隊の中核をなしている巡洋艦。1年戦争時に活躍していたものよりは攻撃力、防御力ともに向上している。しかし、やはりMS相手の戦闘では苦戦をしいられる。



中型輸送機ミデア

地球連邦軍所有の中型輸送機。1年戦争後期に登場した改良型タイプで、以前のものに比べて輸送能力が一段と向上している。オーストラリアでアルビオンに補充要員とMSを運んできた。





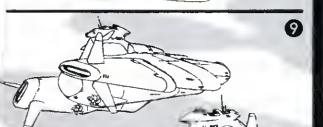
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

グワデン

デラズ・フリート旗艦

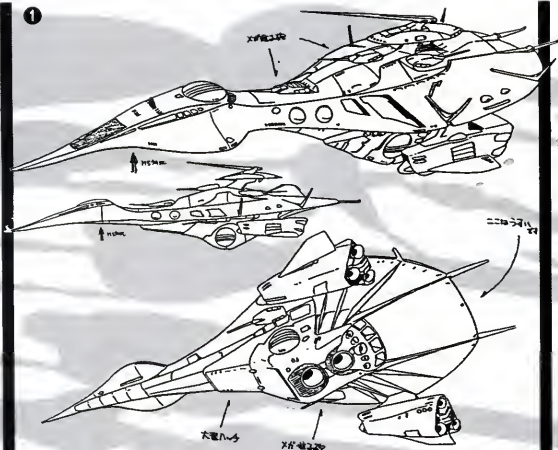
デラズ・フリートの旗艦で、総帥エギーユ・デラズが乗艦しているグワジン級の戦艦。1年戦争時は艦隊の旗艦に使用されていた戦艦で、ザビ家ゆかりの者や、それに準じるものが艦の責任者になってきた。艦内の謁見室にはギレン・ザビの像が飾られている。

- ①側面バース
- ②謁見の間
- ③謁見の間
- ④ギレン・ザビの胸像
- ⑤謁見の間・通路
- ⑥前面バース
- ⑦H L V
- ⑧MS揚陸用ホバークラフト
- ⑨ユーコン級潜水艦

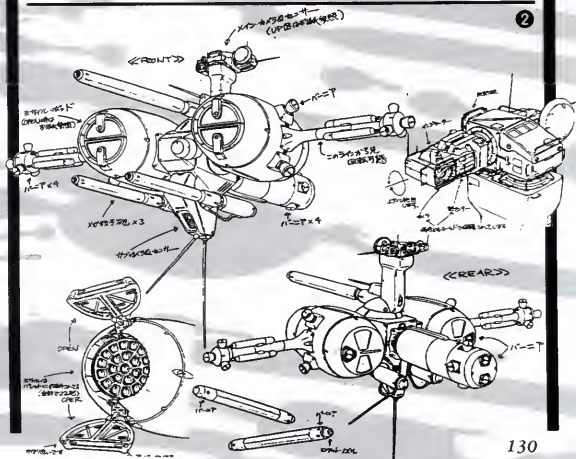


グワデン・ユーコン

1



2

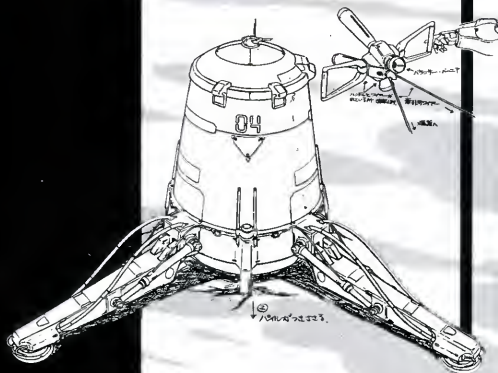
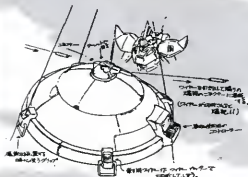
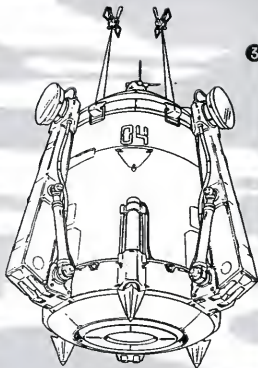


グワンザン

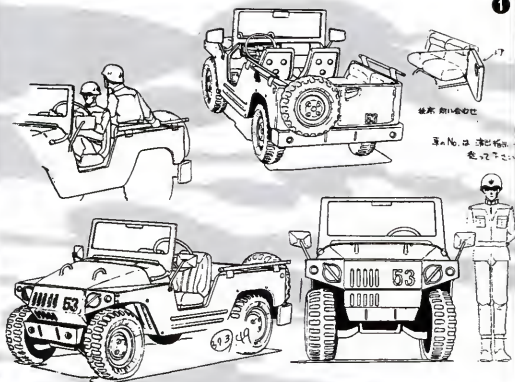
アクシズ先遣艦隊旗艦

デラーズ・フリートに接触するために地球圏にやってきた旧ジオン軍の残党、アクシズ先遣艦隊の旗艦。旧ジオン軍で活躍した戦艦グワジンをベースにアクシズが造り上げた大型戦艦。後に出現するハマーン・カーンの旗艦、グワンバンと同型艦。

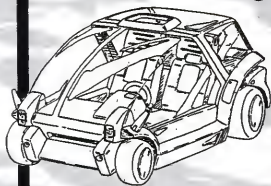
- ①全景
- ②防空用戦闘衛星
- ③コロニーミラー爆破用爆薬



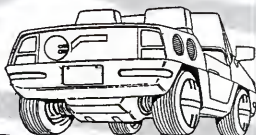
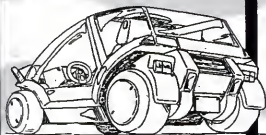
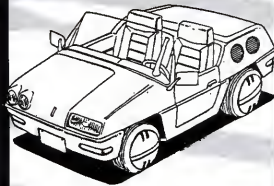
1



3



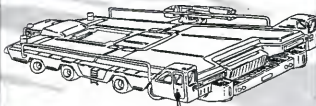
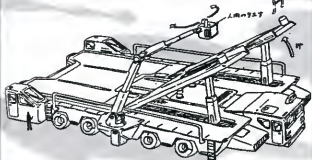
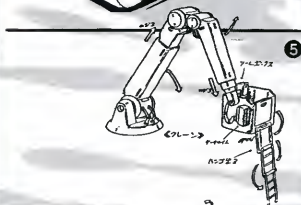
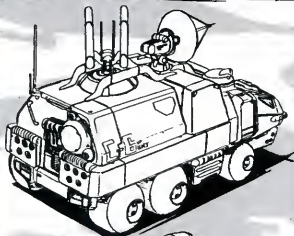
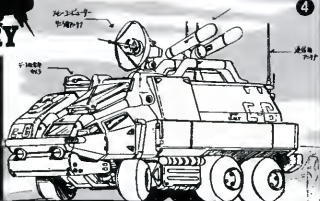
2



地球連邦軍の車両関係

オーストラリアのトリントン基地で使用されていた地上車両と、月面で登場したエレカ。基地内の移動手段に使われていた軍用ジープに、戦闘時の指揮車に使われるコマンド・ビークル。そしてMS運搬用のトレーラー。エレカは、ニナやモーラたちが月でコウの捜索に使っていたもの。

- ①軍用ジープ
- ②エレカ
- ③エレカ
- ④コマンド・ビークル
- ⑤MSトレーラー



MS総リスト

形式番号	名称 (愛称)	表記
RX-94	量産型νガンダム	MASS-PRO TYPE ν GUNDAM
RXF-91	シルエット-ガンダム	SILHOUETE-G
RXR-44	ガンタンクR-44	GUNTANK R-44
SE-DJ-1R	ディジェSE-R	DIJEH SE-R
TGM-79	ジムトレーナー	GM TRAINER
XM-01	デナン・ゾン	DEN' AN-ZON
XM-02	デナン・ゲー	DEN' AN-GEI
XM-03	エビル・エス	EBIRHU-S
XM-04	ベルガ・ダラス	BERGA-DALAS
XM-05	ベルガ・ギロス	BERGA-GIROS
XM-06	ダギ・イルス	DAHGI-IRIS
XM-07	ビギナ・ギナ	VIGNA-GHINA
XMA-01	ラフレシア	LAFRESSIA
YMS-07	プロトタイプ グフ	PROT TYPE GUFU
YMS-08A	高機動型試作機	HI MOBILITY EXPERIMENT TYPE
YMS-09	プロトタイプ ドム	PROT TYPE DOM
YMS-09D	ドム トロピカルテストタイプ	DOM TROPICAL TEST TYPE
YMS-16M	ザメル	XAMEL
	オーキス	ARMED BASE Orchis
	シャクルズ	CHACLZ
	ベース・ジャバー	BASE-JABBER
	ホビーハイザック	HOBBY HIZACK
	メッド	MEDD
	ズック	ZUCK
	クォータースーツ	QUARTER SUIT
	ザクヘッド	ZAKU HEAD
	バグ	BUG
	コア・ブースター	CORE-BOOSTER
	Gスカイ	G-SKY
	Gアーマー	G-ARMOR
	Gブル	G-BULL
	Gファイター	G-FIGHTER
	Gコア	G-CORE
	Gボマー	G-BOMBER
	Gクルーザーモード	G-CRUISER MODE
	Gアタッカー	G-ATTACKER
	スキウレ	SKERET
	バストライナー	BUSTER RINEAR
	ジュニアモビルスーツ	JUNIOR-MOBIL SUIT
	メガバズ-カランチャー	MEGA BAZOOKA LAUNCHER
	ミドルモビルスーツ	MIDDLE MOBIL SUIT
	キャトル	CATL
	ゲゼ	GEZZE
	プチモビルスーツ	PETIT MOBIL SUIT
	メガライダー	MEGA-RIDER
	コア・ファイター	CORE-FIGHTER
	コアトップ	CORE-TOP
	コアベース	CORE-BASE
	Gフォートレス	G-FORTRESS
FF-X11	コアファイターII	CORE FIGHTER II
FF-X11-Fb	コアファイターII-Fb	CORE FIGHTER II FULL VERNIANE
FF-X7	コア・ファイター	CORE-FIGHTER
FXA-05D	Gディフェンサー	G-DIFFENNSER
FXA-08-Bst	コア・ブースター	CORE-BOOSTER
RH-35E	リーア35 ドラケンE	LIEA35 DRAKEN-E

形式番号	名称 (愛称)	表記
RGM-79SP	ジムスナイパーII	GM SNIPER II
RGM-86R	ジムIII	GM III
RGM-89	ジェガン	JEGAN
RGM-89A	STガン	STRATEGIK-TREANER-JEGAN
RGM-89B	ジェガン改	JEGAN CUSTOM
RGM-89J	ジェガンノーマルタイプ	JEGAN NOMAL TYPE
RGM-89M	ジェガン Bタイプ	JEGAN B TYPE
RGM-89R	ジェガン Aタイプ	JEGAN A TYPE
RGM-89S	スターク・ジェガン	STAKE-JEGAN
RGM-90	ジェガン重装型	JEGAN NEAVYTYPE
RGX-03	〇ガンダムサード	O-GUNDOAM TNIRD
RGX-04	〇ガンダムフォース	O-GUNDOAM FOURTN
RGZ-91	リ・ガズィ	Re-GZ
RGZ-91B	リ・ガズィ カスタム	Re-GZ CUSTOM
RMS-099	リック・ディアス	RICK-DIAS
RMS-099B	シュツルム・ディアス	SCNUZURUM-DIAS
RMS-106	ハイザック	HIZACK
RMS-106CS	ハイザック カスタム	HIZACK CUSTOM
RMS-108	マラサイ	MARASAI
RMS-117	ガルバルディβ	GALBALDY-β
RMS-119	アイザック	EWAC ZACK
RMS-141	ゼク・アイン	ZEKU-EINE
RMS-142	ゼク・ツヴァイ	ZEKU-ZWEI
RMS-154	バーサム	BARZAM
RMS-188MD	ザクダイバー	ZAKU-DYVER
RMS-192M	ザクマリナー	ZAKU-MARINER
RMV-1	ガンタンクII	GUNTANK II
RX-098	プロトタイプリックディアス	PROT TYPE RICK-DIAS
RX-110	ガブスレイ	GABTNLEY
RX-139	ハンブラビ	NAMBRABI
RX-160	バイアラン	BYALANT
RX-178	ガンダムMk-II	GUNDAM Mk-II
RX-75	ガンタンク	GUNTANK
RX-77-1A	ガンキャノンA	GUNCANNON A
RX-77-2	ガンキャノン	GUNCANNON
RX-77-3	ガンキャノン重装型	GUNCANNON NEAVY CUSTON
RX-77-4	ガンキャノンII	GUNCANNON II
RX-77D	ガンキャノン量産型	GUNCANNO MASS-PRO TYPE
RX-78-1	プロトタイプガンダム	PROT TYPE GUNDAM
RX-78-2	ガンダム	GUNDAM
RX-78-3	G-3 ガンダム	G-3 GUNDAM
RX-78-4	ガンダム4号機	4th GUNDAM
RX-78-5	ガンダム5号機	5th GUNDAM
RX-78-6	ガンダム6号機	6th GUNDAM
RX-78-7	ガンダム7号機	7th GUNDAM
RX-78GP01	ガンダム試作1号機	GUNDAM ZEPNYRANTNES
RX-78GP01-Fb	ガンダム試作1号機フルバーニアン	GUNDAM ZEPNYRANTNES Fullburner
RX-78GP02A	ガンダム試作2号機	GUNDAM PNYSARIS
RX-78GP03	ガンダム試作3号機	GUNDAM DENOROBUM
RX-78GP03-S	ガンダム試作3号機(MSユニット)	GUNDAM DENOROBUM Stamen
RX-78NT1	ガンダムアレックス	GUNDAM ALEX
RX-78NT1-FA	フルアーマーガンダムアレックス	GUNDAM NTI FULL-ARMOR
RX-B1LA	ライトアーマー	LIGHT ARMOR
RX-B1ST	スタンダード	STANDARD
RX-93	νガンダム	ν GUNDAM
RX-93	νガンダム DFF装備型	ν GUNDAM DOUBLE-FIN-FANNEL

MS総リスト

形式番号	名称 (愛称)	表記
MSZ-006C1	ゼータプラスC型	ZETA-PLUS TYPE C
MSZ-006X1	Zガンダムプロトタイプ	Z-GUNOAM PROT TYPE
MSZ-006X2	Zガンダムプロトタイプ	Z-GUNOAM PROT TYPE
MSZ-006X3	Zガンダムプロトタイプ	Z-GUNOAM PROT TYPE
MSZ-007	量産型Zガンダム	MASS-PRO TYPE Z-GUNOAM
MSZ-008	ゼツツー	Z-II
MSZ-009	プロトタイプZZガンダム	PROT TYPE ZZ GUNOAM
MSZ-010	ZZガンダム	ZZ-GUNOAM
MSZ-010B	強化型ZZガンダム	AMPRIFIED ZZ GUNOAM
MSZ-013	量産型ZZガンダム	MASS-PRO TYPE ZZ GUNOAM
MWS-190516	Oガンダムファースト	O-GUNOAM FIRST
MWS-190516-2	Oガンダムセカンド	O-GUNOAM SECONDO
NRX-044	アッシマー	ASSHIMAR
NRX-055-1	バウンドドック(ゲーツ用)	BOUND-DOC
NRX-055-2	バウンドドック(ロザミア用)	BOUND-DOC
NRX-055-3	バウンドドック(ジェリド用)	BOUND-DOC
NZ-000	クイン・マンサ	QUIN-MANTHA
NZ-222	サイコ・ドーガ	PSYCO-DOGA
NZ-333	α ・アジール	α -AZIERU
NZ-444	β ・アジール	β -AZIERU
OMS-06RF	RFサク	OLDS-MOBILE ZAKU
OMS-07RF	RFグフ	OLDS-MOBILE GUFF
OMS-09RF	RFドム	OLDS-MOBILE DOM
OMS-09RF0	RFデザートドム	OLDS-MOBILE DESERT DOM
OMS-14RF	RFゲルググ	OLDS-MOBILE GELGOOG
OMS-14RFS	RFゲルググ(シャルル用)	OLDS-MOBILE GELGOOG
OMS-90	オールズモビルF90	FORMULA-90
OMSM-07RF	RFズゴック	OLDS-MOBILE ZGOCK
OMSX-01	グラン・サム	GURANE-ZAM
ORX-005	ギャプラン	GAPLANT
ORX-013	ガンダムMk-V	GUNOAM Mk-V
PF-7B-1	パーフェクトガンダム	PERFECT GUNOAM
PMX-000	メッサーラ	MESSALA
PMX-001	パラス・アテネ	PALAS-ATHENE
PMX-002	ポリノーク・サマーン	BORINOK-SAMMAHN
PMX-003	ジ・オ	THE-O
RAG-79	アクアジム	AQUA GM
RAG-79-G1	水中型ガンダム	WATER PLOOF GUNDAM
RB-79	ボール	BALL
RGC-80	ジムキャノン	GM CANNON
RGC-83	ジム・キャノンII	GM CONNON II
RGM-109	ヘビーガン	HEAVY-GUN
RGM-111	ハーディ・ガン	HARDY-GUN
RGM-179	ジムII(グリプス仕様)	GM II
RGM-79	パワードジム	POWERED GM
RGM-79	ジム	GM
RGM-79	陸戦用ジム	GM
RGM-79	デザートジム	DESERT GM
RGM-79C	ジム改	GM
RGM-790	ジム寒冷地仕様	GM BLIZZARD TYPE
RGM-796	ジムコマンド コロニー戦仕様	GM COMMANDO
RGM-796S	ジムコマンド 宇宙戦仕様	GM COMMANDO SPACE
RGM-79L	ジムライトアーマー	GM LIGHT ARMAOR
RGM-79M	ジム・カスタム	GM CUSTOM
RGM-79R	ジムII	GM II
RGM-79SC	ジムスナイパーカスタム	GM SNIPER CUSTOM

形式番号	名称 (愛称)	表記
MS-09R II	リック・ドム ツヴァイ(コロニー)	RICK-DOOM ZWEI
MS-10	ベズン・ドワッジ	PEZN OWAJGE
MS-11	アクトザク	ACTION ZAKU
MS-12	ギガン	GIGUN
MS-13	ガッシャ	GATSNA
MS-14	ゲルゲグ	GELGOOG
MS-14B	高機動型ゲルゲグJ・R専用機	HIGH MOBILITY GELGOOG
MS-14C	ゲルゲグキャノン	GELGOOG CANNON
MS-14D	デザートゲルゲグ	DESERT GERGOOG
MS-14F	ゲルゲグマリーネ	GELGOOG MARINE
MS-14Fs	ゲルゲグマリーネ(シーマ用)	GELGOOG MARINE
MS-14J	リゲルグ	REGELGU
MS-14JG	ゲルゲグイエーガー	GELGOOG JAGER
MS-14S	ゲルゲグ(シャア専用機)	GELGOOG
MS-15	ガン	GANN
MS-17	ガルバルディα	GALBALDY-α
MS-18E	ケンブファー	KÄMPFER
MS-21C	ドラツェ	ORA-C
MSA-0011	Sガンダム	S-GUNDAM
MSA-0011Bst	B・U装着型Sガンダム	S-GUNDAM With BOOSTER UNIT
MSA-0011Ex	Ex-Sガンダム	Ex-S GUNDAM
MSA-003	ネモ	NEMO
MSA-004K	ネモIII	NEMO III
MSA-005	メタス	METNUSS
MSA-005S	メタス改	METNUSS CUSTOM
MSA-007	ネロ	NERO
MSA-007E	EWACネロ	EWAC NERO
MSA-007T	ネロトレーナー	NERO TRAINER
MSA-099-2	リック・ディアスII	RICK-DIAS II
MSF-007	ガンダムMk-III	GUNDAM Mk-III
MSK-005K	ガンキャノンディテクター	GUNCANNON-DETECTOR
MSK-008	ディジェ	OIJEN
MSK-100S	陸戦用百式改	TYPE 100 LAND CUSTAM
MSM-02	水中実験機	AQUA EXPERIMENT TYPE
MSM-03	ゴッグ	GOG
MSM-03-1	プロトタイプゴッグ	PROT TYPE GOGG
MSM-03C	ハイゴッグ	HY-GOG
MSM-04	アッグイ	AGGUY
MSM-04G	ジュアッグ	JUAGG
MSM-04N	アッグガイ	AGGUY
MSM-07	ズゴック	Z' GOK
MSM-07E	ズゴックE	ZUGOCK-EXPERIMENT
MSM-07S	ズゴック(シャア専用機)	Z' GOK
MSM-08	ゾゴック	ZOGOK
MSM-10	ゾック	ZOCK
MSN-01	サイコミュシステム高機動試験型	PSYCOMMU TEST HI-MOBILITY TYPE
MSN-02	ジオング	ZIONG
MSN-03	ヤクト・ドーガ(ギユネイ用)	JAGO-DOGA
MSN-03	ヤクト・ドーガ(クエス用)	JAGO-DOGA
MSN-04	サザビー	SAZABI
MSN-100	百式	TYPE 100
MSN-X4	バギ・ドーガ	BAGWI-DOGA
MSR-100	百式改	TYPE 100 CUSTOM
MSR-100S	量産型百式改	MASS-PRO TYPE 100 CUSTOM
MSZ-006	Zガンダム	Z-GUNDAM
MSZ-006AI	ゼータプラスA型	ZETA-PLUS TYPE A

MS総リスト

形式番号	名称 (愛称)	表記
FA-78-2	ヘビーガンダム	HEAVY GUNDOAM
FA-78-3	フルアーマー3号機	FULL ARMOR 7th GUNDOAM
FA-93 HWS	νガンダムHWS装着型	HEAVY WEAPON SYSTEM ν GUNDOAM
FHA-78-3	重装フルアーマーガンダム	HEAVY ARMOR 7th GUNDOAM
FXA-178	スーパーガンダム	SUPER GUNDOAM
MA-04X	ザクレロ	ZAKRELLO
MA-05	ビグロ	BYGRO
MA-06	ヴァル・ヴァロ	YAL-WALO
MA-08	ビグザム	BYGZAM
MAM-07	グラブロ	GRUBLO
MAN-03	ブラウ・ブロ	BRAWBRO
MAN-08	エルメス	ELMETH
MAX-03	アッザム	AZZEM
MRX-007	プロトタイプサイコガンダム	PROT TYPE PSYCO GUNDOAM
MRX-009	サイコガンダム	PSYCO-GUNDOAM
MRX-010	サイコガンダムMk-II	PSYCO-GUNDOAM Mk-II
MRX-011	量産型サイコガンダム	MASS-PRO TYPE PSYCO GUNDOAM
MS-04	プロトタイプザク	PORT TYPE ZAKU
MS-05	ザク	ZAKU I
MS-06	ザクII	ZAKU II
MS-06A	ザクII	ZAKU II
MS-06C	ザクII初期型	ZAKU II
MS-06D	ザクデザートタイプ	ZAKU DESERT TYPE
MS-06E	ディザートザク	DESERT ZAKU
MS-06EC	デザートザク ロンメルカスタム	DESERT ZAKU ROMMEL CUSTOM
MS-06E	ザク強行偵察型	RECONN TYPE ZAKU
MS-06E-3	ザクフリッパー	ZAKU FLIPPER
MS-06F	ザクII	ZAKU II
MS-06F2	ザクII	ZAKU II
MS-06FS	ザクII(ガルマ・ザビ専用機)	ZAKU II
MS-06FZ	ザクII改	ZAKU FZ
MS-06FZ	ザクII改Bタイプ	ZAKU FZ
MS-06J	ザクII陸戦型	ZAKU II
MS-06K	ザクキャノン	ZAKU CANNON
MS-06M	ザク マリンタイプ	ZAKU MARINE TYPE
MS-06R-1A	高機動型ザク 黒い三連星専用機	HIGH MOBILITY ZAKU
MS-06R-2	高機動型ザクJ・R専用機	HIGH MOBILITY ZAKU
MS-06R-3S	高機動型ザク	HIGH MOBILITY ZAKU
MS-06S	ザクII (シャア専用機)	ZAKU II
MS-06S	ザクII (ドスル・ザビ専用機)	ZAKU II
MS-06Y	ザクタンク	ZAKUTANK
MS-06W	作業用ザク	ZAKU WORKER
MS-06Z	サイコミュ試験型ザク	PSYCOMMU TEST TYPE ZAKU
MS-078	グフ	GOUF
MS-078	グフ(マクベ専用機)	GOUF
MS-07C-3	グフ重装型	GOUF HEAVY TYPE
MS-07C-5	グフ試作実験機	GOUF EXPERIMENT TYPE
MS-07H	グフ飛行試作型	GOUF FLIGHT TEST TYPE
MS-07H-4	グフ飛行試験型	GOUF FLIGHT TEST TYPE
MS-09	ドム	DOM
MS-09F	ドム・フュンフ	DOM-FUNF
MS-09F/TORP	ドム・トローベン	DOM TROPEN
MS-09G	ドワッジ	OWAUGE
MS-09H	ドワッジ改	OWAUGE CUSTOM
MS-09R	リック・ドム	RICK-DOM
MS-09RII	リック・ドム ツヴァイ	RICK-DOM ZWEI

形式番号	名称 (愛称)	表記
AGX-04	ガーベラ・テトラ	GERBERA-TETRA
AMA-01X	ジャムル・フィン	JAMRU-FIN
AMS-119	ギラ・ドーガ	GEARA-DOGA
AMS-119	ギラ・ドーガ(レズン用)	GEARA-DOGA
AMS-119	ギラ・ドーガ重武装仕様	GEARA-DOGA HEAVY WEAPON TYPE
AMS-119S	ギラ・ドーガ改	GEARA-DOGA CUSTOM
AMS-120X	ギラ・ドーガ サイココミュ試験型	GEARA-DOGA PSYCOMMU TEST TYPE
AMA-X2	ノイエ・ジール	NEUE ZIEL
AMX-003	ガザC	GAZA C
AMX-003S	ガザC改	GAZA C CUSTOM
AMX-004	キュベレイ	DUBELEY
AMX-004-2	キュベレイMk-II	DUBELEY Mk-II
AMA-004-3	キュベレイMk-II	DUBELEY Mk-II
AMX-004G	量産型キュベレイ	MASS-PRD TYPE DUBELEY
AMX-006	ガザD	GAZA D
AMX-007	ガザE	GAZA E
AMX-008	ガ・ゾウム	GA-ZOWN
AMX-008B	ガ・ゾウム改	GA-ZOWN CUSTOM
AMX-009	ドライセン	DREISSEN
AMX-013	ズサ・ダイン	ZASSA-DINB
AMX-014	ドーベンウルフ	DOVEN-WOLF
AMX-015	ゲーマルク	GEYMALK
AMX-016	ガザウィラ	GAZA-W
AMX-101	ガルスJ	GALLUSS-J
AMX-102	ズサ	ZSSA
AMX-102C	ズサカスタム(アニー専用)	ZSSA CUSTON
AMX-103	ハンマ・ハンマ	HAMMA-HAMMA
AMX-104	R・ジャジャ	R-JARJA
AMX-107	バウ	BAWOO
AMX-109	カプール	CAPULE
AMX-110	ザクIII	ZAKU III
AMX-110C	ザクIII後期型	ZAKU III LATTER TYPE
AMX-110S	ザクIII改	ZAKU III CUSTOM
AMX-117L	ガズエル	GAZ-L
AMX-117R	ガズアル	GAZ-R
EMS-05	アッグ	AGGE
F70	プロトタイプGキャノン	PROT TYPE G-CANNON
F71	G・キャノン	G-CANNON
F90	ガンダムF90	GUNDAM FORMULA90
F90A	F90アサルトタイプ	F90 ASSAULT TYPE
F90D	F90デストロイドタイプ	F90 DESTROIED TYPE
F90H	F90ホバータイプ	F90 HOVER TYPE
F90M	F90マリンタイプ	F90 MARINE TYPE
F90P	F90プランジタイプ	F90 PLUNGE TYPE
F90S	F90サポートタイプ	F90 SUPPORT TYPE
F90V	F90ヴェスパータイプ	F90 V.S.B.R TYPE
F90 II	ガンダムF90II	GUNDAM FORMULA90 II
F90 II I	F90II インターセプトタイプ	F90 II INTERCEPT TYPE
F90 II L	F90II ロングレンジタイプ	F90 II LONGRENCE TYPE
F91	ガンダムF91	GUNDAM FORMULA91
FA-007GIII	フルアーマーガンダムMk-III	FULL-ARMOR GUNDAM Mk-III
FA-010	フルアーマーZZガンダム	FULL-ARMOR ZZ GUNDAM
FA-010B	フルアーマーZZ先行試作量産型	FAZZ
FA-100S	フルアーマー百式改	FULL-ARMOR TYPE 100 CUSTOM
FA-178	フルアーマーガンダムMk-II	FULL-ARMOR GUNDAM Mk-II
FA-78-1	フルアーマーガンダム	FULL-ARMER GUNDAM

HUD	44
エバリュエーションモニター	44
オーキス	44
オーバーロード	44
送り狼	44
強制開放	44
582MHz	44
コンパス	44
サイサリス	44
302哨戒中隊	50
受閲艦艇	50
ジュッテ	50
スコア	50
ステイメン	50
ゼフィランサス	50
戦時階級	50
第1軌道艦隊	50
第3軌道艦隊	50
デンドロビウム	50
トレンド	50
ナイメーヘン	50
ニンジン	68
バッタ	68
バルフィッシュ	68
ピケット	68
ピンクのゲルググ	68
プレバーナー・バルブ	68
Mk.82	54、66、68
ミノフスキー干渉波	68
ラインバック1	68
冷却ライナー	68
レッドアウト	68
ロカライザー	68

クレナ・ハクセル	30、67、110
グワデン艦長	108
コウ・ウラキ	27、98
コンペイ島基地司令	104

サ行

サウス・パニング	28
シーマ・ガラハウ	31
ジャクリーヌ・シモン	30
ジョン・コーウェン中將	8、64

タ行

チャック・キース	28
チャップ・アデル	29
デトローフ・コッセル	32

ナ行

ナカッハ・ナカト	102
ニナ・パーブルトン	27、65

ハ行

パーミングム艦長	104
ハマーン・カーン	32
ピーター・スコット	30
ペルナルド・モンシア	29

マ行

モーラ・バシット	28
----------------	----

ヤ行

ユーリー・ハスラー	108
-----------------	-----

ラ行

ルセット・オデビー	30、67、110
連邦軍提督	106

用語関係

Iフィールド	44
アラート勤務	44
アンノウン	44
ウィッシュボーン	44

コマンド・ビーグル	132
コムサイ	124
コロニー監視船	63
コロンプス改	120
サラミス級連邦軍宇宙巡洋艦	25、126
ザンジバル級宇宙機動巡洋艦リリー・マルレーン	2、26、126
哨戒機	120
バーミンガム	2、120
ペガサス級強襲揚陸艦	25、120
防空用戦闘衛星	130
ミデア	126
ムサイ級宇宙巡洋艦	26、124
ムサイ級宇宙巡洋艦シーマ艦隊仕様	2、26
MSトレーラー	132
MS揚陸用ホバークラフト	128
ユーコン	128
ラビアンローズ	120

キャラクター ア行

アクラム・ハリダ	30
アナベル・ガトー	31
アルビオンの医務官	102
アルファ・A・ベイト	29、100
イワン・パサロフ	29
ウィリアム・モーリス	30
ウィリィ・グラードル	32
宇宙艦隊参謀	106
エイパー・シナプス	28、64
エギーユ・デラーズ	32
オサリバン部長	65

カ行

カリウス	108
グリーン・ワイアット	104

MS大図鑑PART.7「デラース紛争編・下」

索引

●OVA「機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY」に登場した主要MS・MA及びキャラクター、宇宙艦、主要用語をアルファベット・50音順にまとめました。見出しの単語を選び、記されているページを見て下さい。その単語の解説、あるいは関連する事項がわかるようになっています。

MS & MA

AGX-04ガーベラ・テトラ	10、23、37、48、84、86
AMA-X2ノイエ・ジール	10、24、37、48、80、82
MS-06-F2ザクII	18、37、48、96
MS-09RIIリック・ドムII	22、37、48、96
MS-14FゲルググM	2、21、48
MS-14FsゲルググM指揮官用	2、20、48
MS-21Cドラッツェ	19、48
RGC-83ジム・キャノン	2、17、46、94
RGM-79Nジム・カスタム	2、16、35、46、94
RX-78GP01ガンダム試作1号機	65
RX-78GP01-Fbガンダム試作1号機	2、4、6、14、35、46、65、88
RX-78GP02ガンダム試作2号機	4、6、15、35、46、66、90、92
RX-78GP03ガンダム試作3号機	8、10、12、35、46、67、70、72、74、76、78

メカニク

アルビオン	2、25、112、114、116、118
HLV	128
エレガ	132
グワジン級アクシズ先遣艦隊戦艦グワンザン	130
グワジン級宇宙戦艦グワデン	26、128
軍用ジープ	132
コアファイターII-Fb	25

STAFF

企画

株式会社メディアワークス
第4編集部・書籍編集課（安藤利明）

構成・編集

仲重舎
井上 徹
渡辺利浩

装丁

タケモトアツシ（t-DESIGN LAB.）

カバーイラスト

As'maria

デザイン

仲重舎
シイバミツヲ&ケンジ

協力

株式会社サンライズ（井上幸一、武井良幸）

宇宙世紀ボックス 機動戦士ガンダムMS大図鑑 PART.7【デラース紛争編<下>】

CONTENTS

MS戦史 MS War History	2
MS名鑑 MS Catalogue	12
メカニック名鑑 Mechanic Catalogue	25
キャラクター名鑑 Character Catalogue	27
MS開発史 MS Development History	33
MS性能比較表 An ability Symmetry of MS	45
ガンダム・オフィシャル・レポート GUNDAM Official Report	51
設定資料集 Design Collection	69
モビルスーツ Mobile Suit	70
キャラクター Character	94
メカニック Mechanic	112
MS用語辞典 MS Glossary	44, 50, 64
MS総リスト MS All List	134
索引 Index	140

※本書は1992年6月に株式会社バンダイ・出版課より発行されたエンターテインメントバイブル・シリーズ「機動戦士ガンダム MS大図鑑Part7【デラース紛争編<下>】」を複製した物です。文章・データに2005年現在と合致しない部分がございますが、原書のままですのでご容赦下さい。

※ご協力いただいた方々の所属は発行当時のまま記載しております。

発行 2005年3月20日 初版発行

発行者 佐藤辰男

発行所 株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8東京YWCA会館
TEL.03-5281-5243(編集)

発売元 株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL.03-3238-8605(営業)

印刷所 共同印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えます。

分売不可

©創通エージェンシー・サンライズ

Printed in Japan

〔R〕本書の全部または一部を無断で複写（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（03-3401-2382）にご連絡下さい。

MS ENCYCLOPEDIA

NO.07

MS大図鑑
[PART.7 テラーズ紛争編・下]



MOBILE SUIT GUNDAM 0083
LAST BLITZ OF ZEON

MS NO.07

MS大図鑑
[PART.7_デラース紛争編・下]

ENCYCLOPEDIA



MOBILE SUIT GUNDAM 0083
LAST BUTZ OF ZEON

MS

NO.07

ENCYCLOPEDIA

.....

MOBILE SUIT GUNDAM 0083
LAST BLITZ OF ZEON

MS

NO.07

ENCYCLOPEDIA

.....

MOBILE SUIT GUNDAM 0083
LAST BUTZ OF ZEON

MS大図鑑

PARTY・エリナー・粉争乱・下

No. 07

NO. 7

M.S.大図鑑
「PARTY」
フェイス・粉・黒・下

NO.